

MISAWA



HEARTH

2012年度 ミサワホームCSR報告書

子どもたちの未来のために

HEARTH

Heart & Earth Design

親子のふれあいやご家族のつながりを深め、末永く安心して暮らせる、Heartを大切にする住まいであること。

自然を感じながら心地よく暮らせて、地球環境に貢献できる、Earthを大切にする住まいであること。

ミサワホームが目指しているのは、Heart(心、思いやり)とEarth(地球)がひとつになった

“Heart&Earth=HEARTH”の住まいづくりです。子どもたちの未来を、
より美しく、より豊かな世界にするため、私たちは住まいに人と地球への思いやりをデザインします。



HEART

深く信頼されるミサワホームをめざして



EARTH

地球にやさしいミサワホームをめざして

ミサワホームでは「HEARTH」をCSR推進活動のテーマとし、

本報告書では「HEART」と「EARTH」の κατηγοリーに分け、

それぞれの取り組みを詳しくご紹介しています。

本報告書ではさまざまなステークホルダーの方々を対象としているため、できるだけ多くの活動項目をご紹介できるよう編集しています。それぞれの詳細内容は下記のWEBサイトにてご覧ください。また、**WEB**の付してある項目は、WEB版にて、ここをクリックすることで関連サイトにリンクできます。また、皆さまから寄せいただいた貴重なご意見やアドバイスを、今後のCSR活動や、当報告書の作成にいかしていきたいと考えています。下記WEBサイトのアンケートフォームからのご協力をお願いいたします。

www.misawa.co.jp/csr/

■会社概要



社 名 ミサワホーム株式会社
(MISAWA HOMES CO.,LTD.)

設立年月日 平成15年8月1日
(旧ミサワホームとしては昭和42年10月1日)

主要事業所

本 社 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル

本 館 東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号

資 本 金 10,000,000,000円(平成24年3月31日現在)

主 要 事 業 ●建物及び構築物の部材の製造及び販売
●建築、土木、外構、造園その他工事の設計、請負、施工及び監理
●不動産の売買、交換、賃貸、仲介、管理及び鑑定
●建設資材、建設設備機器、建設機械装置、家具及び室内装飾品の設計、製造、施工、販売、賃貸及び輸出入
●高齢者向集合住宅施設の経営並びに当該施設の利用権の販売及び仲介
●介護保険による居宅介護業務他、介護業務関係
●上記事業に関する調査、研究、技術開発、教育及びコンサルタント業務
●再生可能エネルギー等を利用した電気の供給に関する事業 他

従 業 員 数 本社694名 連結8,917名
(平成24年3月31日現在)

■編集方針

ミサワホームでは、2007年度より当社の活動がどのように社会と関わっているかを、さまざまなステークホルダーの方々にご理解いただくためにCSR報告書を発行しています。ミサワホームのCSR活動テーマである「HEARTH」に基づき、前半を「HEART(深く信頼されるミサワホームをめざして)」、後半を「EARTH(地球にやさしいミサワホームをめざして)」という2部構成としています。作成にあたり、環境活動部分は環境省の「環境報告ガイドライン(2007年版)」を、社会的側面についてはGRI(Global Reporting Initiative)の「GRIガイドライン2006年(第3版)」を参考にしています。

■対象範囲

ミサワホーム株式会社及びミサワホーム工場(木質工場:9工場、木質部品工場:2工場、セラミック工場:1工場)

対象組織 本報告書の対象範囲はミサワホーム株式会社を中心として記載していますが、一部、ミサワホーム工場(12工場)、販売・建設を担うミサワホームディーラーを含むミサワホームグループの活動(ミサワホームグループの一覧についてはP46を参照)についても記載しています。

また、個人の所属・役職名、組織名については発行日現在のものとしています。

対象期間 2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)を基本としています。必要に応じて2011年度以前及び2011年度以降の活動内容も記載しています。

発 行 日 2012年6月(次回発行予定 2013年6月)

■目次

会社概要・編集方針	2
トップコミットメント	3
中期経営計画「Home Step Jump計画」	5
企業理念	7
コーポレートガバナンス	8
住まいるりんぐシステム	9
2011年度CSR活動トピックス	11

HEARTHトップページ 20

お客さまと共に

良質な商品・サービスの提供	21
---------------	----

従業員と共に

労働環境の整備	23
---------	----

取引先と共に

協力・教育・啓発	25
----------	----

株主(投資家)と共に

経営指標及び開示方針	27
------------	----

社会と共に

まちづくり	29
社会貢献	30

EARTHトップページ 31

地球環境と共に

環境への取り組み	32
環境会計	33
環境マネジメントシステム	34
マテリアル&エネルギーフロー	35
2011年度環境活動の実績と自己評価	37
CO ₂ 削減	39
資源の有効活用	40
ゼロ・エミッション	41
生物多様性保全	42
サイトレポート	43
環境コミュニケーション／環境活動の歩み	44

ミサワホームグループネットワーク	45
------------------	----

トップコミットメント



豊かな社会づくりに貢献する
『住まいのNo.1ブランド』を目指し、
独自のスマートハウス化を
推進してまいります。

ミサワホーム株式会社
代表取締役社長執行役員

竹中 宣雄

『住まいのNo.1ブランド』を目指す中長期経営ビジョン

2011年度のわが国の経済は、東日本大震災の発生により国内景気が大きく影響を受けましたが、資材供給面への制約がほぼ解消され生産活動の正常化が進み、復旧・復興需要による受注が増加するなど、回復へ向けた着実な歩みが見られました。しかしながら欧州の債務問題による国際的金融不安や円高の影響など懸念材料も多く、景気先行きの不透明感が高まることとなりました。住宅業界においても、上期は政府による住宅支援策の下支えもあり、需要は堅調に推移しておりましたが、下期以降、住宅エコポイント制度やフラット35Sの金利優遇が一時中止され、景気先行きの不透明感から一部で住宅投資マインドの低下が見られるなどで2011年度の新設住宅着工戸数は、84.1万戸と前年に比べて緩やかな増加にとどまりました。このような環境のもと、ミサワホームでは2006年に発表した中長期経営ビジョンを実現するため様々な施策に取り組んでまいりました。このビジョンではコーポレートスローガンである「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、良質な「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献するための経営理念とステークホルダーごとの行動指針に基づき「お客様満足度の徹底追及」と「時代をリードする発想力」で『住まいのNo.1ブランド』を目指しています。また、昨年11月にはこの中長期経営ビジョンを達成するための3ヵ年計画として2011年度から始まる新中期経営計画「Home Step Jump 計画」を発表いたしました。

「Home Step Jump 計画」

前中期経営計画では、生産性の向上や総原価低減などにより損益分岐点を引き下げる「事業構造の再構築」と、主力の注文住宅事業への過度な利益依存を見直し、新規事業開拓を含めてリスク分散を目指した「事業ポートフォリオの多様化」を骨子として事業推進を行ってまいりました。新中期経営計画はこの骨子を踏襲しつつ、全事業分野で収益を確保する「既存事業の収益最大化」と「収益源の多角化」を目指し、次代に向けて新たな成長戦略（Jump）の打ち出しを実現するための基盤整備を行う（Step）期間と位置付けています。この基本方針に基づき、新中期経営計画の最終年度である2013年度において、連結売上高4,220億円、営業利益125億円、経常利益120億円を目指します。

スマートハウス化の推進

新中期経営計画では市場ニーズにあった商品ラインアップの充実と、高付加価値で割安感のある工業化住宅の開発による拡販を目指しています。特に東日本大震災で計画停電や原発事故などの深刻な事態に直面した今、エネルギー自給の必要性が高まるとともに、エネルギー利用の最適化を実現する「スマートハウス」が求められており、これに対応した商品開発、技術開発も進めています。昨年10月にはこれらのニーズに対応し、スマートハウスの中核となる先進技術として太陽光発電や蓄電池、HEMS（ヘムス）※機能を備えた「enecoco（エネココ）モニター」などを搭載した新商品「SMART STYLE E（スマートスタイル イー）」を発売しました。また、1月よりこれらの技術を全ての工業化戸建住宅に採用できるよう「M-SMART Model（エムスマートモデル）」も展開



しています。今後もトヨタホームと共同開発した「蓄電池付きHEMS」やその他の先進技術を採用した商品開発を進め、これに当社のソリューションである自然エネルギー利用の「エコ・微気候デザイン」、太陽光と太陽熱を同時利用する「カスケードソーラーシステム」、建設時のCO₂排出量を住宅ライフサイクルの中で回収する「LCCM（ライフサイクルカーボンマイナス）」といった技術を融合させ、エネルギーだけでなく「快適性の最適制御」までも行える独自のスマートハウス化を推進してまいります。※HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）

優先株式処理と復配

また、新中期経営計画では財務基盤の強化として優先株式の処理と復配に向けた取り組みを発表いたしました。その一環として3月には株式会社日本政策投資銀行を割

当先として新規に145億円分のD種優先株式を発行いたしました。同時に、この145億円と減資などによって得られる分配可能額により、発行済みの第3回B種優先株式、第4回B種優先株式及び第1回C種優先株式を自己株式として145億円で取得し、一括消却をいたしました。これにより当社グループの経営課題であった優先株式の処理に目処がつくとともに10期ぶりの復配を実施することができました。今後は新中期経営計画に基づく利益目標を着実に達成し、株主価値の向上を図ってまいります。

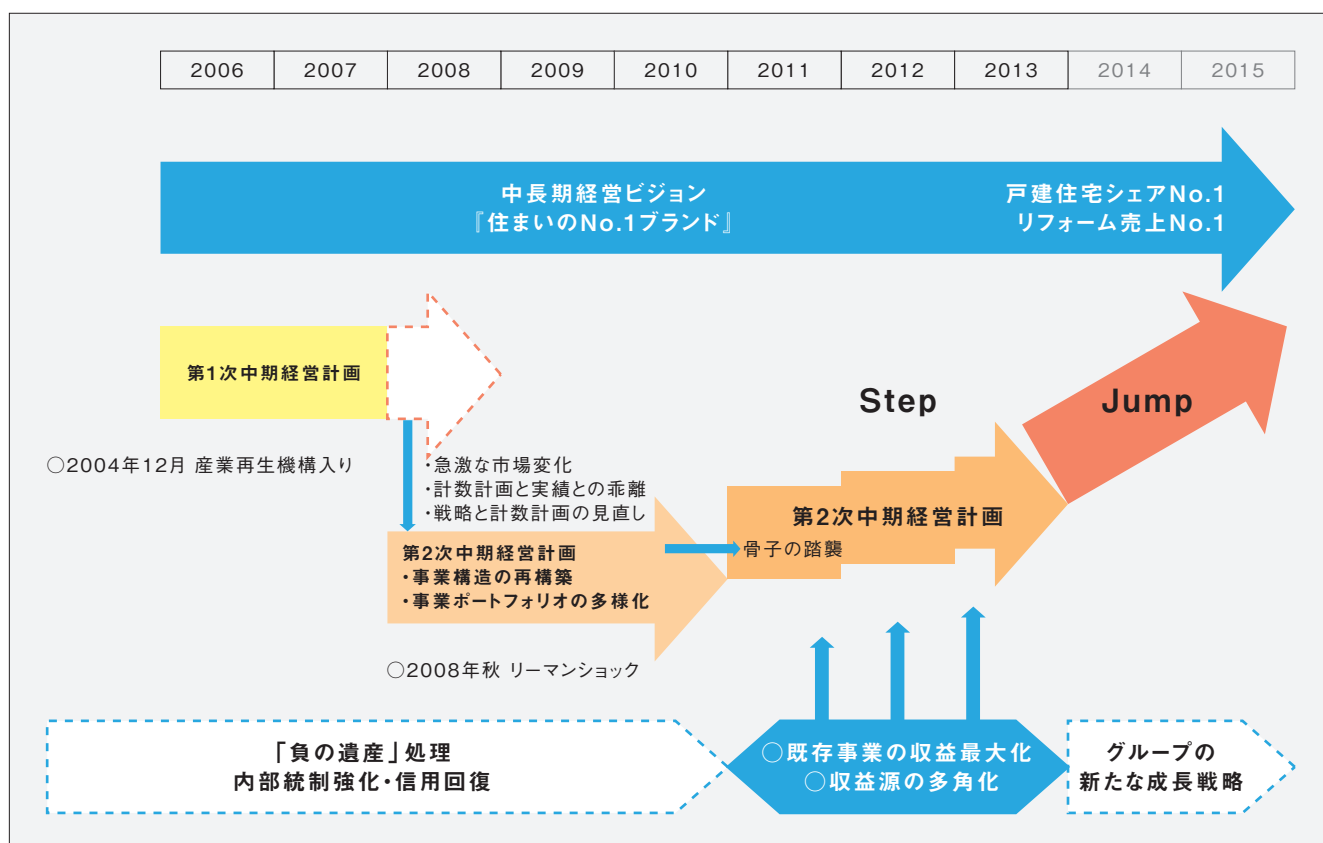
わが社におけるCSRとは

ミサワホームのCSR報告書発行は今年で6回目となりますが、当社のCSR活動として取り組むべき課題はまだまだ多く残されています。新中期経営計画においても企業価値向上を重点戦略として位置づけ、これに基づき下期には当社初のCSR専門部署を設置しました（経営企画部 CSR・環境推進課）。今後はこの部署を中心に「住まいを通じて生涯のおつきあい」というコーポレートスローガンに基づき、従来にも増して社会のニーズにこたえる優良な住宅を開発し、それを普及させるという役割を全部門が果たせるよう推進してまいります。2011年度もミサワホームが永年培ってきた、すぐれた「技術力」と「デザイン力」をいかし、良質な社会ストックとなる住宅の開発に、グループ丸となって取り組んでまいりました。その成果のひとつとしてミサワホームグループの株式会社マザアスなどが運営を手がける自立高齢者向けと要介護高齢者向け住戸の1階に薬局、介護サービスなどの生活支援事業所を集約した地上10階建の複合住宅「BLAN JR札幌」を完成させました。またこの建物で採用した高齢者が住み慣れた家に住み続けるためのサポート体制である「地域密着型高齢者サポートシステム」を含む4点（一部外部との共同申請含む）が22年連続でグッドデザイン賞を受賞しました。このようにミサワホームが進めている高齢化社会における住まいのあり方についての研究開発やデザイン提案は外部からも高く評価されています。ミサワホームグループのCSR活動はまだまだ不十分な点が多々ありますが、この報告書を最後までご一読いただき、忌たんのないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

中期経営計画「Home Step Jump計画」



ミサワホームグループでは、『住まいのNo.1ブランド』を目指す中長期経営ビジョンを達成するための具体的戦略を織り込んだ「中期経営計画」に基づき事業を推進しています。2011年度よりスタートした新中期経営計画「Home Step Jump 計画」（2011年度～2013年度）では、次代に向けて新たな成長戦略（Jump）の打ち出しを実現するための基盤整備を行う（Step）期間と位置付け、前中期経営計画における「事業構造の再構築」と「事業ポートフォリオの多様化」といった骨子を踏襲しつつ、全事業分野における収益を確保する「既存事業の収益最大化」と「収益源の多角化」を目指した事業推進を行っています。



■ 既存事業の収益最大化

① 商品戦略	●工業化住宅の拡販 ●スマートハウス化の推進 ●木造軸組住宅「MJ Wood」の拡販
② 分譲事業戦略	●本社直轄分譲事業の開始 ●販売会社へのサポート強化 ●復興支援などにおけるまちづくりへの参画
③ リレーション戦略	●オーナーさまからの建て替え・リフォーム受注獲得 ●集客チャンネルの多様化 ●コールセンター機能の拡大
④ スtock事業戦略	●ストック事業の拡充とリフォーム売上の拡大 ●リフォーム営業担当者の増員 ●リフォームメニューの充実 ●「地域密着型高齢者サポートシステム」の訴求による高齢者対応リフォーム
⑤ 業務効率化・コストダウン戦略	●「設計センター」による構造設計作業負荷の低減 ●シェアードサービス導入 ●徹底した総原価低減の実施

■収益源の多角化

①介護・福祉事業	●株式会社マザアスのノウハウ活用、大都市圏に事業展開
②特建・マンション事業	●ローコスト賃貸マンションの商品化 ●新工法の開発 ●デベロッパーと提携した分譲マンション事業
③不動産流通事業	●買取再生再販制度「ホームエバー」、スムストックなど活用
④ライフサポート事業	●家事代行サービスの展開 ●保育分野の事業化検討
⑤外販事業	●物流事業、建材など外販の積極化
⑥エクステリア事業	●エクステリア専用展示場などを活用した販売拡大

■その他の重点戦略

①財務基盤の強化	●早期復配の実現 ●既存優先株式の処理
②トヨタグループとのシナジー効果発揮	●フロントヤードでは競争 ●バックヤード(物流・調達・共同分譲など)は協調 ●自動車・住宅・ITなどの技術を活用した有機的連携 ●リフォーム・介護福祉など、フロントヤードに近い分野でも連携
③海外事業	●組織体制の強化 ●部材提供・技術支援などによる実績づくり
④環境対応	●新環境5カ年計画「SUSTAINABLE2015」の推進
⑤人的経営資源の強化	●CS・ESを含めたCSRの推進で企業価値を高める

【連結損益計画】

市場ニーズに合った商品開発・サービスの提供、建て替えや分譲受注の拡大などの施策による「既存事業の収益最大化」と、介護・福祉事業や不動産流通事業などの事業内容をより充実させて収益性を確保する「収益源の多角化」を推進することで、新中期経営計画の最終年度である2013年度において、連結売上高4,220億円、営業利益125億円、経常利益120億円を目指します。

		2010年度 (実績)	2011年度	2012年度	2013年度	2010年度比
売上高	注文住宅	1,672	1,780	1,780	1,790	7.0%
	戸建分譲	259	325	390	475	83.4%
	賃貸住宅	162	175	180	180	10.8%
	部材外販	76	75	80	85	11.7%
	工業化住宅①	2,170	2,355	2,430	2,530	16.6%
	RC・SRC・S造	79	75	110	145	82.8%
	リフォーム	508	545	590	640	25.9%
	木造(軸組・2×4)	204	235	265	325	59.2%
	その他	451	570	535	580	28.4%
	その他②	1,243	1,425	1,500	1,690	35.9%
	合計(①+②)	3,413	3,780	3,930	4,220	23.6%
売上総利益		806	870	905	960	19.1%
販売費及び一般管理費		719	765	800	835	16.1%
営業利益		87	105	105	125	43.3%
経常利益		78	95	100	120	52.4%

※上記損益計画は2011年11月発表時点の数値

企業理念

ミサワホームの社名にある「HOME」の文字。そこには、単なる器としての家（HOUSE）ではなく、家族のふれあいが感じられるような、暮らし方までトータルに考えられた住まい（HOME）の提供、という創業以来の住まいづくりの理念が込められています。

【コーポレートスローガン】

私たちミサワホームグループは「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、良質の「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献します。

【経営理念】

安全・快適で環境を重視した家づくり、街づくりを行います。

法令を遵守し、倫理を重んじて誠実に行動します。

地球全体を視野に入れ、環境保全活動などを行い、社会に貢献します。

企業価値の向上に努め、長期安定的な成長により、ステークホルダーとの共存共栄を実現します。

グループ社員が相互に信頼し、協力し合って能力を発揮する職場をつくります。

適正な財務報告・情報開示と適切なリスク管理を行います。

【行動指針】

1 | お客さま（消費者）に対して

- 私たちは、卓越したデザイン・技術により、良質で心のこもった商品・サービスを開発・提供します。
- 私たちは、誠実で適切な営業活動を行います。
- 私たちは、わかりやすく正確で適切な表示、情報提供を行い、十分な説明責任を果たします。
- 私たちは、アフターサービス体制を整備し、迅速で的確に対応します。
- 私たちは、お客さまの個人情報を適切に利用し、厳重に管理します。

5 | 社会・環境に対して

- 私たちは、企業活動そのものが環境保全活動となるよう努力します。
- 私たちは、法令と社会的常識に基づいて行動します。
- 私たちは、官公庁、行政機関などと健全な関係を保ちます。
- 私たちは、反社会的勢力・団体からの不当な圧力に屈しません。
- 私たちは、地域社会の安全な生活に配慮し、地域社会と友好な関係を保ちます。
- 私たちは、事業活動を行うあらゆる地域において、社会貢献活動を積極的に推進します。

2 | 従業員に対して

- 私たちは、個人を尊重し、その成長を支援します。
- 私たちは、倫理的な行動を促す企業風土を育てます。
- 私たちは、国籍、人種、性別などによる差別を行いません。
- 私たちは、安全と健康に配慮した労働環境を保ち、さらに向上させるよう努めます。
- 私たちは、人権を尊重し、いかなる形であれ強制労働・児童労働は行いません。
- 私たちは、情報の重要性を認識し、情報セキュリティの確保に努めます。

4 | 株主（投資家）に対して

- 私たちは、長期的安定的な成長を通じ企業価値の向上に努めます。
- 私たちは、財務報告を含む経営情報を適時かつ適正に開示します。

3 | 取引先に対して

- 私たちは、取引先の決定にあたっては公正な基準と適正な手続により選定します。
- 私たちは、取引先と契約に基づく対等な関係を保ち、公正かつ自由な取引を行います。
- 私たちは、取引先と社会的常識の範囲内での節度ある関係を保ちます。



コーポレートガバナンス

■ガバナンス体制

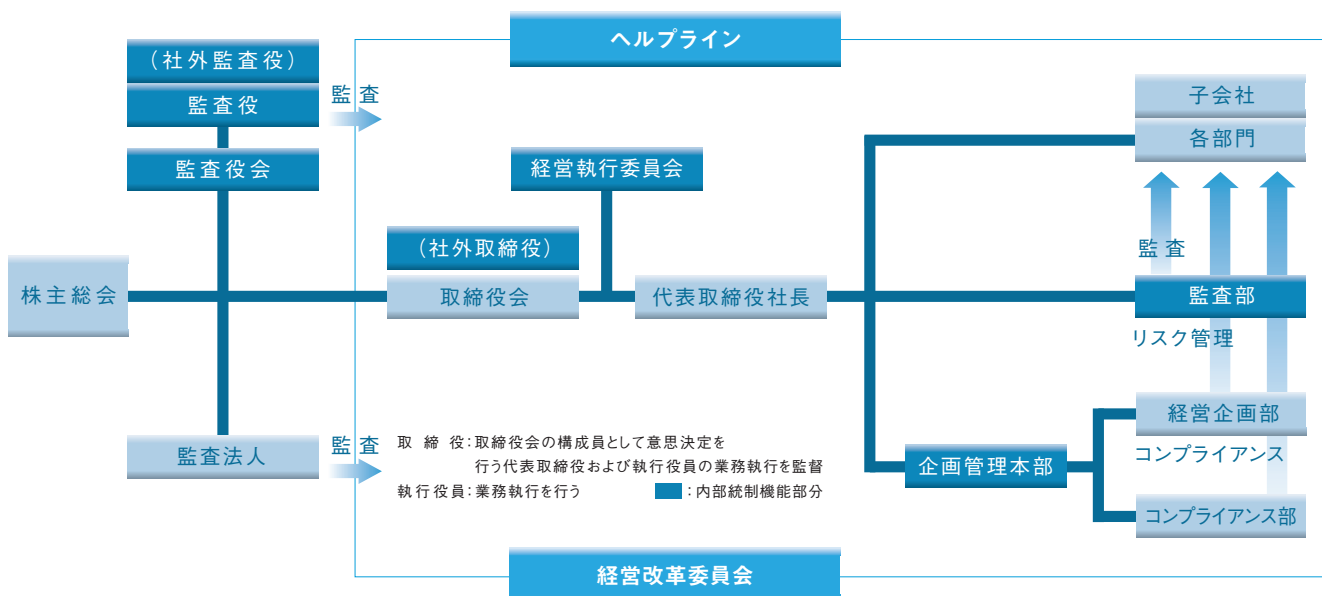


「住まいを通じて生涯のおつきあい」のコーポレートスローガンのもと、お客さま、株主はもとより従業員等事業活動に係わるすべての関係者の利益を重視し、コーポレートガバナンスの確立は極めて重要な経営課題と位置付け、企業経営の透明性と信頼性の確保に努め、企業価値の最大化と収益拡大に向けて、迅速かつ適正な経営に取り組んでおります。

■内部統制構築の基本方針

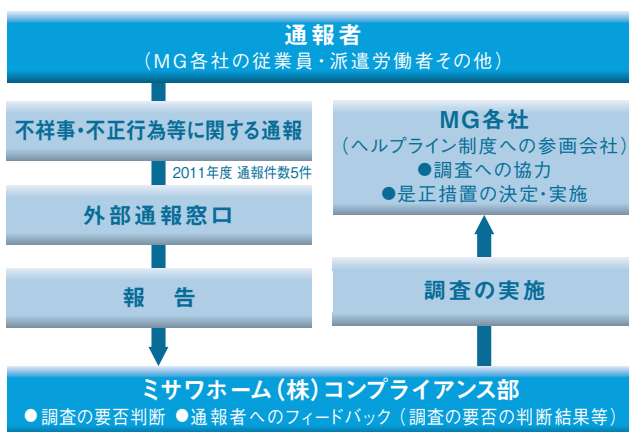


2006年5月に「内部統制システム構築の基本方針」を取締役会で決議し(2009年6月一部改定)、「取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確実にするための体制」などをはじめとする10項目の基本方針を定め、ホームページ上に会社情報として開示しています。



■ヘルプライン

ミサワホーム関係者が、グループ内における不祥事や不正行為などを見かけたり、起こしてしまった際に相談・通報を受け付ける制度です。不祥事の拡大防止や不正行為の是正などを実施し、グループの社会的信頼を維持することを目的としています。たとえば同僚や上司が不正を行っていた場合、誰に相談すればよいかわからないなどの悩みを解消するために設けられている制度であり、グループの自浄作用を促すものです。実名・匿名いずれでも通報できますが、実名の場合でも関係者に名前が漏れないように配慮しています。



■個人情報保護



ミサワホームは、お客さまのご信頼とご満足を第一に考えた企業活動を基本とし、お客さまその他の個人の方からお預かりする個人情報を大切に管理することを重要な責務と考えて

います。その責務を遂行するため、個人情報の保護に関する法律に基づき、プライバシーポリシーを定め、これに従って個人情報の取り扱いを行うことを、全社に徹底しています。

住まいるりんぐシステム



ミサワホームでは、“長く住み継がれ、資産価値を維持できる
住まいづくり”を重要テーマとし、住宅の長寿命化のための
技術開発やサポート体制の構築に取り組んできました。

さらに、自社建物物件を買取再生販売する「ホームエバー」を加え、
新築からアフターサービスメンテナンス、リフォーム、売却・賃貸管理を含めた
不動産サポートまで、住まいの循環システムとして体系化。

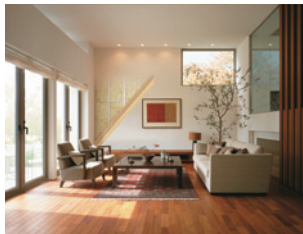
将来の安心を積極的に訴求しています。

WEB

1 Smile Home **価値がつづく、安心がつづく、 だから笑顔がつづく住まいです。**

WEB

ミサワホームは標準仕様で「長期優良住宅」に対応し、認定取得により住宅ローン控除や各種税制の優遇措置も受けられます。耐震性や省エネ性能、劣化対策などにすぐれた性能を実現。住宅履歴はすべてデータベースで保存され、必要に応じて活用・開示が可能です。住み継ぐ際に高い価値を維持できます。



【長期優良住宅】

WEB

家の長寿命化をめざす「長期優良住宅先導的モデル事業」

基本性能は「住宅性能表示制度」を高いレベルで満たしています

建物だけでなく維持管理や流通なども含めた新しい“仕組み”です

モデル事業に採択されたミサワホームグループの提案

【住宅性能表示制度】

WEB

さまざまなメリットがある「住まいの品質確保法」

安心の住まい「住宅性能表示制度」

住宅性能のさまざまな項目で最高等級に対応

【住宅履歴情報システム(MECIA)】

住み継ぐ際に高い評価を維持する情報システム

2 Smile Life **毎日、万一のときも、 あなたの住まいを見守っています。**

WEB

業界トップクラスの構造体30年保証制度や保証満了後の延長制度も導入。お引渡し後は、「定期巡回サービス」、「定期点検サービス」を実施。「365日・24時間体制」などで、万一のときも安心です。WEBサイトでは「HOME CARE HAND BOOK」を公開。補修や部品の交換時期などもご案内します。



【保証制度】

WEB

構造体を30年保証する「新築住宅保証制度」

保証を延長できる「維持管理保証制度」

家の売買時にも安心の「既存住宅保証制度」

【アフターサービス】

WEB

お引き渡し後2年間で3回の「定期巡回サービス」

10年ごとに20年目まで無料実施「定期点検サービス」

緊急事態にも即時対応する「365日・24時間体制」

台風や地震時に備える「災害時待機体制」

【メンテナンス】

WEB

快適な暮らしを守る住まいのメンテナンス



ミサワホームイング Smile Reform 3

大好きなわが家がもっと好きになる
リフォームをお届けします。

WEB

適切な時期のメンテナンスと計画的なリフォームをご提案。
住まいの耐久性や性能を高めます。暮らしの変化に合わせた
ワンランク上の「デザインリフォーム」は、もっと快適で美しい
わが家を実現。「まるごとホームイング」なら、最新のデザインや
技術で、建替えることなく外装・内装・設備を一新できます。



【メンテナンスリフォーム】

WEB

築年数に合わせた最適なリフォームをご提供

【デザインリフォーム】

WEB

リフォーム業界初のグッドデザイン賞を受賞

高い技術力で、住宅展示場のイメージを再現

廃材を出さず短工期を実現する「かぶせ工法」

独自のリサイクル素材「M-Wood」を採用

【まるごとホームイング】

WEB

建替えずに外装・内装・設備を一新する全改装リフォーム

不動産サポート Smile Next 4

次の世代、その次の世代へと
住み継ぐ安心をサポートします。

WEB

オーナーさまのマイホームを一般社団法人移住・住みかえ支援
機構が最長で終身にわたって借り上げ。家を賃貸する際の
負担を軽減し、長期間サポートも充実しています。住まいの売却
は、新査定制度「スムストック査定」や次のオーナーさまへと
受け継ぐ「ホームエバー」がお手伝いします。



【マイホーム借上制度】

WEB

将来の安定した賃料収入を保証する借上制度

ミサワホームは「移住・住みかえ支援適合住宅」

【MRD倶楽部】

WEB

オーナーさまの「安心経営」を支えるトータルサポート体制

【スムストック】

WEB

住まいの価値を適正に評価する売却サポート

【買取再生販売制度「ホームエバー」】

WEB

オーナーさまの住まいをミサワホームが買取・販売

2011年度CSR活動トピックス

お客さまと共に

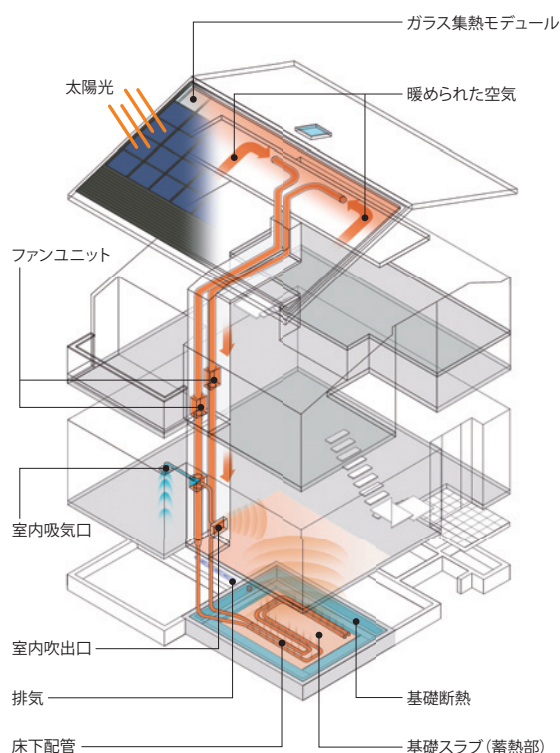
WEB

「スマートエシカル」をコンセプトとした「SMART STYLE E」を発売

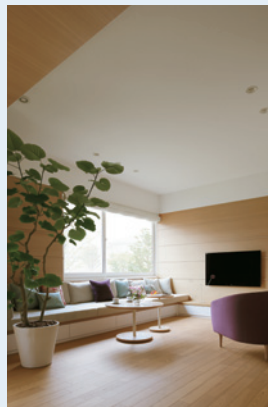
SMART STYLEシリーズは、創立40周年にあたる2007年の商品ブランドの再構築によって誕生しました。企画住宅ならではの生活提案と高いコストパフォーマンスにより、その後順調に販売実績を伸ばし、すでに累積10,000棟を超える主力商品に成長しています。しかしSMART STYLEシリーズがメインターゲットとしているキッズファミリーについては、共働き世帯の増加や世帯あたりの家族数の減少など、ライフスタイルや世帯構成そのものが変化しており、標準的な世帯像というものを設定しにくくなっています。

さらに震災をきっかけに、暮らしや社会についての考え方が大きく転換しました。住まいの耐震性や災害への備え、家族の絆や地域のつながりなどが重要視されるようになったのはもちろん、計画停電や原発事故などの深刻な事態に直面した今、エネルギー自給の必要性が高まるとともに、エネルギー利用の最適化を実現する“スマートハウス”が求められています。そこで、ミサワホームではSMART STYLEシリーズのコンセプトを根本的に見直し、生活提案型の企画住宅ならではのメリットをいかながら、震災後の新しい価値観やライフスタイルに対応した“これからの日本の暮らし方”を実現できる住まいとして新しい提案を盛り込みました。

太陽光だけでなく太陽熱も利用するカスケードソーラーシステム図



永く美しさを保つ新開発のタイル外装を全てのプランに採用。



居心地のいいアルコーブ・リビング。



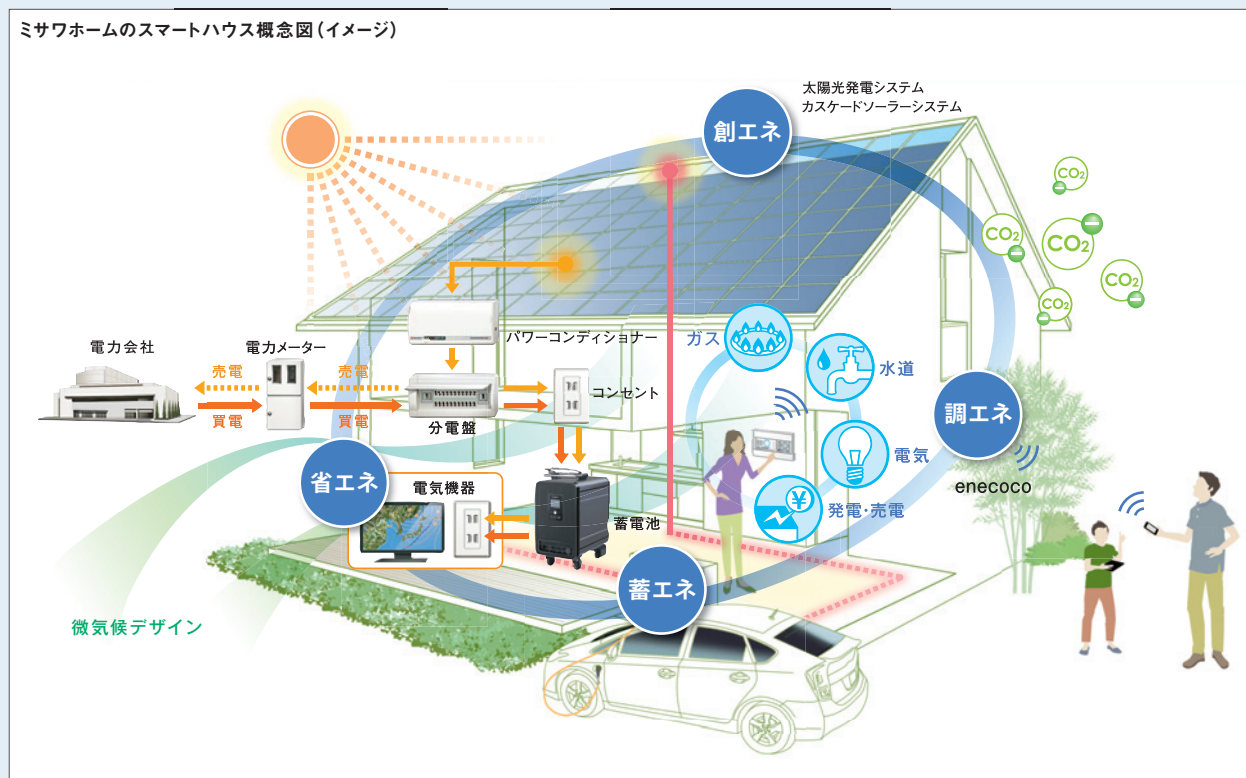
安全性や機能性にすぐれた蓄電池。

「SMART STYLE E」は、商品コンセプトを「スマートエシカル」とし、自然エネルギーを大切にする「地球への思いやり」、高品質・高性能で安全を守る「安心への思いやり」、家族が毎日を快適に過ごせる「ヒトへの思いやり」、愛着を生み永く住み続けられる「将来への思いやり」という4つの思いやりをテーマに、それぞれの視点から新しい付加価値を盛り込みました。風洞設計や電動トップライトなどの微気候デザイン設計、ゆとりの天井高約2.7mのアルコブ・

リビング、大収納空間KURA、全面タイル貼りの外装などを全てのプランで採用しています。さらに、スマートハウス※の中核となる先進技術として、カスケードソーラーシステム○や蓄電池、ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)機能を備えた「enecoco(エネココ)モニター」などを搭載したアドバンスモデルもご用意しました。

※スマートハウス:IT(情報技術)を使い、太陽光発電や蓄電池などの創エネ・省エネ設備機器や家電などを連携させてエネルギー管理を行うことで、家庭内のエネルギー消費を最適に制御する住宅。

ミサワホームのスマートハウス概念図(イメージ)



WEB

>>> 開発担当者インタビュー



商品開発部
第一設計課 課長
田井宏樹

ミサワホームの設計思想のベースにあるのは、できるだけ機器に頼らず家全体で快適さを実現しようというものです。それを具現化したのが、すぐれた断熱性や気密性などの基本性能をベースに、太陽光や風を最大限に有効活用する「ECO・微気候デザイン」です。「SMART STYLE E」ではこの「省エネ」に加え太陽光発電システムによる「創エネ」、蓄電池による「蓄エネ」、さらにはHEMSによる「調エネ」の機能をバランスよく採用し、ミサワホームならではのスマートハウスを提案しています。

2011年度CSR活動トピックス

お客さまと共に **ご家族の充実した時間を育む住まい「GENIUS Qualie」**を発売

WEB 

家事時間の短縮や、家族の新しいコミュニケーションを育むライフスタイルを提案した「GENIUS Qualie」。基本コンセプトは、“Happy Share Life !”(share:共有・分担)。ご夫婦や親子で毎日の家事をいっしょに楽しんだり、みんなで空間を上手に利用できる、充実した暮らしを住まいがサポートします。ポイントは、“誰でも家事をしやすくする”こと。家事を簡単にする工夫によってみんなで家事参加が可能になり、毎日の家事が一人に集中しなくて済みます。



お客さまと共に **スモールファミリー向けのメゾネット賃貸住宅「Belle Lead Unison」**を発売

WEB 

「Belle Lead Unison」は、スモールファミリーにちょうどいい広さを確保し、戸建感覚で生活できるメゾネット賃貸住宅です。ゆとりの空間設計や快適・安全アイテムを搭載することで賃貸住宅が抱える問題を解決。1戸あたりの間口が3～4M*の「スリムメゾネット設計」は、住戸の配置を工夫することで変形や狭小敷地にも柔軟に対応し、敷地を有効活用できます。1階玄関脇にはガレージや趣味空間など、入居者の多彩なライフスタイルに応える「Canroom(キャンルーム)」を設けました。



※1M=910mm

お客さまと共に **新しい“学び空間”を提案する住まい「HYBRID 自由空間 Edu」**を発売

WEB 

「HYBRID 自由空間 Edu」は鉄骨系ハイブリッドの小屋裏3階建て住宅に、お子さまの成長に合わせた「4つの学習空間」や「ホーム commons 設計」などを提案。太陽光発電システムやHEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)など、将来のスマートハウス対応を盛り込んだ企画住宅です。山内祐平氏(NPO法人Educe Technologies 代表理事/東京大学大学院情報学環 准教授)監修のもと、お子さまの成長ステージと住まいの学習環境の設計手法を開発しました。



ミサワホームは、主力商品の木質系及び鉄骨系の工業化住宅のほか、木造軸組住宅の販売にも積極的に取り組んでいます。住宅市場が縮小傾向にある中で、戸建住宅については木造軸組住宅が全体の約8割を占めると言われており、ミサワホームはこの木造軸組住宅の市場シェア獲得を目指して、2009年度より木造軸組住宅の商品ブランド“耐震木造住宅”「MJ Wood」を本格的に展開しています。2010年度には、前年度比約3割増となる約1,000棟を受注しており、今後も受注拡大が見込めるとの判断から、「MJ Wood」の特長である耐震性・耐久性などの高性能・高品質は維持しつつ、さらなるコストダウンを図ることで商品力や販売力を強化できるように、「MJ Wood」専門の販売会社「ミサワMJホーム」を設立。首都圏で営業を開始しています。また「ミサワMJホーム」はミサワホームグループとして初めて、「MJ Wood」を総合住宅展示場2カ所に出展。制震装置や太陽光発電システムなどの先進テクノロジーはもちろん、自然の光や風を生活に採り入れて活用する先人の知恵「微気候デザイン」なども提案した伝統的な日本家屋の良さを受け継ぐ和風タイプの住宅として販売しています。家の中と外をつなぎ、蓄熱・蓄冷効果も期待できる土間空間や、外からの視線を遮りながら通風を確保する縦格子戸などを設計しています。

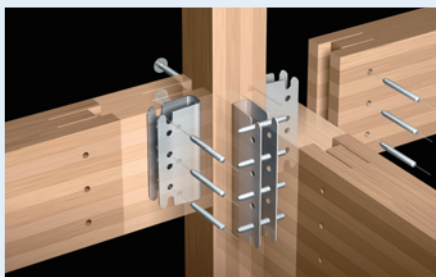
MJ Wood



八王子展示場 和風タイプ



志木展示場 Season j (シーズンジェイ)



金物接合「MJメタルジョイント」を採用



ミサワMJホーム
代表取締役専務
木口昇

>>> 関係者インタビュー

木造軸組住宅は、日本古来の建築工法により、日本で最もたくさん建てられている住宅です。さらに言えば、日本人の多くは“木の家”に愛着や憧れを抱いています。ミサワホームでは、今後、木造軸組住宅の魅力をどんどん前面に押し出していくつもりです。木質感溢れる住まいを提案するだけでなく、四季を感じることができるようなプランニングを施すことで、「日本人のための日本の住まい」を形にしていければと考えています。工業化住宅で培ってきた品質やデザインというミサワホームのブランド力や技術力などを武器に、他の木造住宅とは一線を画した住まいを提供していきます。

2011年度CSR活動トピックス

社会と共に

住まいづくりのテーマパーク「ミサワファクトリー」を開設

WEB 

ミサワホームは、住まいの先進技術や基本性能、デザインなどを、より身近に感じることで理解を深めてもらえるように、体験・体感型施設を全国で展開しています。5月にオープンした「ミサワファクトリー名古屋」には、地震シミュレーターや制震装置「MGEO」などを設置。また、10月には「ミサワオープンファクトリー北海道」もオープンしました。大人だけでなく子供たちの社会科見学を受け入れるなど、誰もが楽しみながら住まいづくりを学べるテーマパーク型の施設となっています。



「ミサワファクトリー名古屋」

社会と共に

震災復興応援住宅「MISAWA HEART 2011」を提供

WEB 

被災者支援として、震災復興応援住宅を東北エリアを中心に発売。地震や津波により自宅が被災し、二重ローンの問題に直面したり長い避難所生活を送ったりしている被災者からは、地震に強い家であることはもちろん、負担の少ない価格と一日も早く入居できるスピード施工や2世帯同居の要望などが増えています。「MISAWA HEART 2011」は、罹災証明を取得している被災者を対象に、お求めやすい価格にするとともに、着工から竣工・引渡しまでの工期を約2ヶ月に設定しました。



「MISAWA HEART 2011」

社会と共に

「JUST SMART」など5点が第5回キッズデザイン賞を受賞

WEB 

木質系戸建商品「JUST SMART」、「SMART STYLE C」、都市型保育施設「コビープリスクールかめいど」、事故予防という観点から分析した研究「家庭内の事故・ひやりはっと事例の分析～チャイルドロックで防げる事故とその対策～」の4点に加え、株式会社ミサワホーム総合研究所では住育に取り組むプロジェクト「ミサワセーフティレポートプロジェクト」を受賞。ミサワホームグループとして合計5点、今回で5年連続の受賞となりました。今後もさらなる研究開発に努めてまいります。



「SMART STYLE C」

社会と共に

22年連続でグッドデザイン賞を受賞

WEB 

鉄骨系戸建住宅「HYBRID scena」、生活エネルギーのネットワークサービス「enecoco（エネココ）」、高齢者が住み慣れた家に住み続けるためのサポート体制である「地域密着型高齢者サポートシステム」、南極昭和基地の「自然エネルギー棟」※の4点について、2011年度グッドデザイン賞を受賞。「デザインのミサワホーム」として、建物及び住宅部品の品質や性能の向上を図るとともに、すぐれたデザインの商品やサービスを開発し、今後もお客さまに「安心・安全・快適」な住まいを提供します。



「HYBRID scena」

※大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所および日本大学理工学部建築学科半貴敏夫先生との共同申請

社会と共に

住まいの安全を学ぶ絵本消費者教育教材資料表彰で「最優秀賞」を受賞

WEB 

ミサワホーム総合研究所は、これまで“住育”をキーワードに子育てを通じて住まいが果たす役割や家庭内事故の防止策に関する調査・研究を進めてきました。その研究成果をいかし、子どもたちが探し絵遊びをしながら親子で家庭内事故について学べる絵本「ヒヤリハットさんちへいってみよう!」を制作。財団法人消費者教育支援センター主催の消費者教育教材資料表彰優秀賞の受賞だけでなく、実際の感想をもとに、全受賞作品の中から最優秀賞に選ばれました。



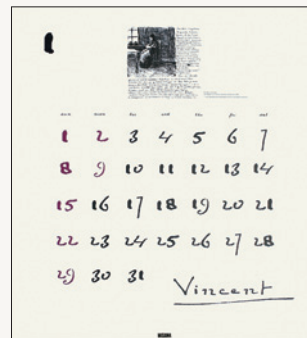
消費者教育教材資料表彰「最優秀賞」受賞

社会と共に

第63回全国カレンダー展「経済産業大臣賞」を受賞

WEB 

2012年版のカレンダー「偉人の生涯と筆跡カレンダー（フィンセント・ファン・ゴッホ）」が、第63回全国カレンダー展において、最高位である経済産業大臣賞を受賞しました。全国カレンダー展におけるミサワホームの受賞は、最高位受賞としては6回目、その他の賞と合わせると通算14回目になります。ミサワホームでは、カレンダーで過去の偉人たちの功績を紹介することで、その紙面がきっかけとなり親子のコミュニケーションが育まれることを願って制作しています。



第63回全国カレンダー展「経済産業大臣賞」受賞

2011年度CSR活動トピックス

社会と共に

生活サポート付きの高齢者向け賃貸住宅「BLAN JR札幌」が完成

WEB

ミサワホームグループではこれまでに北海道内で8ヶ所の高齢者向け賃貸住宅を開設しています。そして今回、自立高齢者向け(5～10階)と要介護高齢者向け(2～4階)住戸、1階部分の薬局、介護サービスなどの生活支援事業所を集約した複合住宅「BLAN JR札幌」を完成させました。ミサワホームグループのミサワホーム北海道株式会社と株式会社マザアスの運営により大都市圏での介護・福祉事業のノウハウをさらに獲得。今後もニーズに合った介護・福祉事業の展開を図ります。



「BLAN JR札幌」

社会と共に

「グループホーム」と「小規模多機能型居宅介護」の複合型介護施設を開設

WEB

ミサワホームグループの株式会社マザアスが運営を手がけるグループホーム「マザアスホームだんらん柏・増尾台」と小規模多機能ホーム「マザアスホーム憩・増尾台」を組み合わせ、建築した初の複合型介護施設を開設しました。家庭の温もりと一家団欒の雰囲気重視、戸建感覚の外観デザインやインテリアを採用。1つの建物内に併設することで、小規模多機能ホームでのサービスを受けている方が、将来、併設するグループホームへ入居することが可能となりました。



複合型介護施設

社会と共に

住育で子どもたちの成長を応援する新築保育施設3ヵ所が同時完成

WEB

ミサワホームは保育分野を含む「ライフサポート事業」の拡大を目指し、これまでに2つの保育園について園舎リフォームを担当。キッズデザイン賞を受賞しています。このたび、ミサワホーム総合研究所が初めて設計を担当する保育施設の新築園舎が3ヵ所同時に完成しました。ミサワホームは今後も保育園の設計・施工などを通じて保育分野のノウハウを蓄積するとともに、子どもから高齢者まで、誰もが住みやすい住宅の開発や、快適で安心な住生活空間の実現を目指します。



コピーブリスクールみさとながとろ

地球環境と共に **生活エネルギーのSNS^{※1}付きHEMS^{※2}サービス「enecoco」をスタート**

WEB 

ミサワホームでは、家庭内の生活エネルギーの使用状況を表示できるカラーエネルギー表示器にインターネット回線通信機能を付加した新機種「enecocoモニター」を発売。さらに、生活エネルギーデータを通じてコミュニケーションしながら省エネ活動に取り組める、SNS付きHEMSサービス「enecoco」を提供。主に家庭内で利用されるHEMSを“生活エネルギーのSNSプラットフォーム”へと発展させ、社会全体の省エネルギー活動を推進します。



HEMSサービス「enecoco」

※1 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス） ※2 HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）

地球環境と共に **カーボンオフセット機能付「QUOカード」を作成**

WEB 

一般家庭での太陽光発電によるCO₂排出削減効果进行いやす仕組みとして、2009年に「ECOになる家の会」を発足。オーナーさま宅のCO₂排出削減量を取りまとめて排出権化する取り組みを行い、当会に順次入会可能な「プログラム型排出削減事業」の事業承認も取得。2011年3月までのCO₂排出削減分として認証を取得した「国内クレジット」を全量買い取り、カーボンオフセット機能付「QUOカード」を作成しました。



カーボンオフセット機能付「QUOカード」

地球環境と共に **「2011上海国際木造エコ住宅博覧会」に出展**

WEB 

国際見本市連盟に認証された唯一の国際建築建材産業総合展「2011 上海国際建築建材産業総合展」の「2011 上海国際木造エコ住宅博覧会」に2年連続で出展。気密性と断熱性にすぐれた「木質パネル接着工法」や制震装置「MGEO」、リサイクル素材「M-Wood」など、ミサワホームを代表する技術を展示しました。日本政府主催の「2011日中木材・木造建築セミナー」では、日本の建築技術としてミサワホームの住宅を紹介しました。



2011上海国際木造エコ住宅博覧会

2011年度CSR活動トピックス

地球環境と共に

戸建住宅の全商品で「M-SMART MODEL」を展開

エム スマート モデル

WEB 

すぐれた基本性能をベースに、太陽光発電システムなどによる「創エネ」、蓄電池による「蓄エネ」、微気候デザインなどで自然の心地よさを住まいに採り入れる「省エネ」、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）で住む人がエネルギーを効率よく利用できる「調エネ」を実現。さらには「将来対応」として、PHVやEVからのエネルギー供給に対応する先行配管・配線も提案したスマートハウス仕様の「M-SMART MODEL」を、全商品に設定しました。



「SMART STYLE E」

地球環境と共に

リフォームでもスマートハウス化「ECO SMART REFORM」を提案

エコ スマート リフォーム

WEB 

ミサワホームイング株式会社は、既築住宅においてもスマートハウス化を推進しています。CO₂排出量の削減と環境負荷の低減を目指し、新築と同様に太陽光発電システム、リチウムイオン蓄電池、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）の3設備を、リフォーム工事で搭載することでスマートハウス化を実現する「ECO SMART REFORM」を提案。PHV・EV自動車の充電器設置などと合わせて、ストック分野での省エネ化を図ります。



PHV・EV自動車充電器（イメージ）

地球環境と共に

最高ランクでのLCCM住宅認定を取得

WEB 

三重県亀山市に建設した「LCCO₂マイナス住宅 亀山モデル」が、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（IBEC）から、最高ランクの「LCCM住宅☆☆☆☆☆」（環境効率ランクS、ライフサイクルCO₂ランク5つ星）認定を取得。この認定制度は、住宅分野の省CO₂推進に欠かせないLCCM住宅の開発と普及促進に寄与することを目的として2011年にスタート。建築環境総合性能評価システム（CASBEE）戸建評価認証制度に基づき認定されます。



「LCCO₂マイナス住宅 亀山モデル」



HEART

深く信頼されるミサワホームをめざして

社会の責任ある一員として誠実に行動し、お客さまをはじめ、
あらゆる人びとの「HEART」と深い信頼関係を築けるよう努めます。





HEART

お客さまと共に

ミサワホームグループは、すぐれた住まいづくりを通じてお客さまの満足度向上を追求します。

良質な商品・サービスの提供 ミサワホーム独自の卓越した技術・デザインにより、良質な商品を開発します。

4つの育む

WEB

ミサワホームは、お子さまの未来のために、環境保全から歴史的価値のあるまちづくり、安全・安心で健康的な暮らし、日本文化の継承など、広い視野で住まいづくりを考えた「4つの育む」をお約束します。



環境を育む

ミサワホームは、一歩先のECO住宅の実現をお約束します。2015年度までの環境活動計画「SUSTAINABLE 2015」に基づき、「ECO・微気候デザイン」の標準化、次世代省エネルギー基準を超える高断熱性能の全棟標準化、ECO素材の活用や建物の長期耐久、住宅ライフサイクルにおけるCO₂削減率25%（1990年比）などの達成を目指しています。さらに太陽光や太陽熱、雨水・風力・地熱など、新しい自然エネルギーの活用もすすめます。

エコフラッグシップモデル

WEB

ECO・微気候デザイン

WEB

次世代省エネルギー基準

(木質系住宅) WEB
(ハイブリッド系住宅) WEB

リサイクル素材「M-Wood」

WEB

100%リサイクル素材「M-Wood2」

WEB

環境配慮素材「ニューセラミック」

WEB

人と環境にやさしい「無公害防蟻工法」

WEB

ECOになる家の会

WEB



暮らしを育む

ミサワホームは、末永く住み継がれる価値の高い住まいづくりをお約束します。200年暮らせる家を視野に入れ、何十年に一度の大地震にも耐える住まいを設計。制震装置の全棟標準装備も目指しています。リフォームのサービスを拡充し、メンテナンスしながら住み継げる住まいを設計。維持管理システムや保証内容の充実をはかり、社会資産としての住宅再活用システムも推進しています。

耐震性にすぐれた構造・工法の採用

(木質系住宅) WEB
(ハイブリッド系住宅) WEB

地震エネルギーを最大50%軽減する制震装置「MGEO」

WEB

100年・200年で価値をはかる住まいづくり

WEB

住まいの資産価値を高める「ミサワホームイング」

WEB

クリックで建てる家 MISAWA WEB DIRECT

WEB

オーナーさまの会員制サイト「MISAWAオーナーズクラブ」

WEB

3つの保証制度で住まいとご家族の安心をサポート

WEB

移住・住みかえ支援適合住宅制度

WEB



家族を育む

ミサワホームは、いつまでも安心して快適な暮らしを楽しめる住まいづくりをお約束します。増加傾向にある犯罪からご家族を守るため、先進のセキュリティシステムを拡充。家庭内事故も未然に防げる住まいづくりをすすめています。お子さまのすこやかな成長を促し、子育てをサポートする「キッズデザイン」の普及を推進。将来の変化に備えたバリアフリー設計、最高レベルのシックハウス対策などで末永く健康的に暮らせる住まいづくりを推進していきます。

総合的な防犯対策

WEB

住まいの安全を考える「セーフティーレポート」

WEB

ミッフィーの子育てにいいおうち

WEB

子育てを応援する“Kids Design Home”

WEB

子育て書籍「ヒヤリハットさんちへいってみよう!」

WEB

2段階配慮のバリアフリー設計

WEB

快適で安全な室内空気環境の実現

WEB

犬と人と家族のいい関係

WEB



日本の心を育む

ミサワホームは、日本人のアイデンティティを大切にする新しい暮らしをお約束します。モノを大切にする心を育て、ご家族の大切な品を継承する大収納空間「蔵」の普及を促進。自然の中で生きていることや四季の移ろいを実感できる、先人の知恵を設計にいかします。日本人が長い歴史の中で育んできた「和の心」やそれぞれの土地特有の文化を再定義し、日本の住文化に基づいた新しい美学、新しいデザインシステムを開発していきます。

日本の住まいと暮らしをテーマにした出版活動

WEB

大収納空間「蔵」

WEB

22年連続グッドデザイン賞受賞

WEB

近代デザインの源流「バウハウスコレクション」

WEB

CENTURY DESIGN OFFICE

WEB

耐震木造住宅「MJ Wood」

WEB

住まいづくりのテーマパーク

WEB

日本の住まいを科学するミサワホーム総合研究所

WEB



HEART

従業員と共に

ミサワホームグループは従業員の個性を尊重し、その成長を支援します。

労働環境の整備 従業員一人ひとりがいきいきと働ける労働環境を整備します。

雇用状況

WEB

ミサワホームグループでは、全国各地で地域密着の販売・設計・施工・アフターメンテナンスを行う「ディーラー」、住産業の一躍を担い幅広い分野の事業を展開する「関連会社」、「工場」が一体となり、グループの総合力でお客さまに住まいと暮らしを包括した心豊かな価値をお届けしています。採用はこのグループ各社ごとに募集・選考を行っています。2012年度（2012年4月）の新卒採用は、本社42名、グループ全体で262名です。2013年度の採用については現在ホームページにて情報提供しています。



ミサワホームの雇用状況（2012年3月31日現在）

従業員数	本社 694名	連結 8,917名
女性社員比率	本社 126名(18%)	連結 1,675名(18%)
障害者比率	21名(1.86%) ※本社のみ	
非正規社員	156名 ※本社のみ	
平均勤続年数	本社 男性17年・女性13年	

ワークライフバランスの確立

WEB

ミサワホームでは、ワークライフバランスの確立と働きやすい労働環境の整備によって、社員が持っている能力を最大限に発揮できるよう、各種制度を導入しています。これまでの取り組みが評価され、2010年度には厚生労働省東京労働局より次世代育成支援対策推進法に基づく基準一般事業主として認定。認定マークの「くろみん」を取得しました。2011年度には育児休業期間を最大3年間に延長したほか、社員の積極的な育児参加を推進するため育児休業の一部有給化を実施。他にも、有給休暇の未取得分のうち失効時に年当たり最大5日、合計80日間まで

積み立てることができ、家族の介護や子の看護等に使用できる「サポート休暇」や、有給休暇をより細やかに取得できるようにすることで、通院などのために1時間単位での有給取得も可能にする「時間単位有給休暇」を導入するなど、ワークライフバランスの確立に向けた積極的な取り組みを行っています。なお、2011年度の各種制度の利用状況は以下の通りです。

制度利用状況（2011年度）

育児休業： 16名	介護休業： 0名	時短措置： 22名
-----------	----------	-----------

キャリアの育成

長期人員計画に基づき適切な人員数を確保したうえで、社員のキャリアに応じた育成、適性に応じた活用、公正な評価と処遇を推進するため、若年層を中心に定期的な異動として「ジョブローテーション制度」を導入。また、これまでのライン職

に加え、専門性の高い社員のキャリアとしてスタッフ役職を設け「キャリアの複線化」を推進するなど、多様な働き方に対応しながら社員のモチベーションの維持向上を目指しています。

LQ休暇

ミサワホームでは2005年より、従来の夏期休暇(3日間)と創業記念日(10月1日)をフレックス化し、これに有給休暇1日を加え年間を通じて任意の時期に取得できる「LQ休暇制度」を採用しています。「LQ」とは「Life Quality(生活の質向上)」と「Long

(長い)休暇(Q)」を掛け合わせた造語で、個人の働き方、生活に合わせた休暇を充実させ、仕事と生活の質の向上を図ることを目的としています。この制度を利用することで土曜・日曜日の定休日と合わせて最大9日間の連続休暇の取得が可能となります。

人事評価制度

ミサワホームでは「目標管理制度(MESSE)」において「業績評価」と「コンピテンシー評価」を採用し、賞与・昇給・昇格に適切に反映することで、バランスの取れた評価を実現しています。

また、管理職が期待されるマネジメント行動を行っているかを診断し役職者の成長を促す目的で、管理職に対する部下診断である「マネジメント行動診断」を導入しています。

メンタルヘルスケア

2008年より、ミサワホーム本社社員向けにメンタルヘルスマたはキャリア(職務を含む人生そのもの)上の悩みについて、専門家が支援を行い、適切な対応、メンタル疾病の発症予

防および適切な治療への連携を図る「EAPサービス」を実施しています。外部の専門機関に業務委託することにより、より高品質で、守秘レベルの高いサービスを提供しています。

従業員意識調査の実施

ミサワホームではグループ社員が仕事に対し、常に意欲的な気持ちで取り組むことができるよう、2003年より「従業員意識調査」を実施しています。これは社員の仕事や会社に対する意見・意識を直接的に確認することにより、今後の人事施策の参考として活用することと、社員のモチベーション阻害要因を早期に発見し、改善に努めるために実施しているも

のです。2005年からは「MGモチベーションサーベイ」として、対象を連結子会社を中心としたグループ企業全体に拡大して実施。この調査結果を通じて、LQ休暇制度の導入や、育児・介護支援制度の拡充などの職場環境の改善が図られています。

社員育成制度の充実

ミサワホームグループでは、教育研修の基本的事項を定めており、グループ社員の向上心と自己啓発意欲を喚起、助長し、各人が自ら人格の統治と資質の向上に努めるべく教育研修の機会を提供するとともに、現在および将来の業務上必要とされる知識・技能および基本姿勢を習得させ、グループの発展と社会的使命の達成に寄与する人材を育成することを目的と

しています。この考えに基づき、新入社員から経営者にいたる全階層に対し、それぞれに期待される知識・技能および基本姿勢などを習得させる「階層別研修」を導入。また、2007年度からは経営理念・行動指針の周知徹底を図るためにコンプライアンス研修を拡充し、一般社員・管理職はもとより、販売会社の経営層に対しても研修を実施しています。



HEART

取引先と共に

ミサワホームグループは取引先との共存共栄をはかり、対等な関係と公正かつ自由な取引を行います。

協力・教育・啓発 仕入先企業や施工工事店の方々とのコミュニケーションを推進しています。

仕入先企業協力的会「センチュリー会」

ミサワホームでは、オーナーさまにご満足いただける快適な住まいを提供するためには、仕入先企業など、お取引先との共存共栄と、新しい素材や機能を有した住まいの開発・品質確保・資源保護・環境保全などについての協力体制が極めて重要であると考えています。仕入れ先企業との信頼・協力関係をより強固なものとし、相互に発展していくために、当社の仕入先企業111社（2011年4月現在）で組織する「センチュリー会」では、当社のグループ行動指針に基づき、会員各社と対等かつ公正な関係を築くとともに、共同で環境負荷低減活動や安全・安心・CS向上などに取り組んでいます。センチュリー会は、5つの部会で構成され、各部会での研究を通じて会員相互のレベルアップ及びコミュニケーションの向上を図っています。部会活動においては、ミサワホームの商品開発ビジョンである「4つの育む」を念頭に置き、①「環境」②「新商品」③「安全」



ミサワホーム・センチュリー会 総会

「品質」「CS」④「納期」「ものづくり」⑤「人材育成」「元気」などの具体的なテーマのもと、異業種勉強会や工場見学会などを行い、より快適な住まいをご提供していくための企業活動を仕入先企業と協力のうえ、推進しています。

取引先の選定について

取引先の決定にあたっては、公正な基準と適正な手続きにより選定いたします。新規にお取引を開始する場合には、適正な価格と品質の部品・原材料を安定的に供給していただけるように、取引先選定の基準を「購買規定」で定めています。継続的に取引を行っている場合にも、1年に1回評価をし、

結果をフィードバックさせていただくことで、より良い関係を築く基盤としています。生産・供給体制に加え、「品質」「価格」「納期」「経営」を総合的に評価し、基準を満たしたお取引先と契約させていただくことで、安定供給を実現しています。

輸送の安全性を確保する活動推進

ミサワホームでは、部材輸送時の事故災害を撲滅するために、関連輸送業者を対象とした「物流方針会議」を年に2回開催しています。その会議において、全社が安全に対する認識を共有し、その方針に沿った安全対策の具体的な行動計画を立案しています。例えば、勉強会の開催や、共通標語の制定、定期研修などを実施しており、そのような研修訓練を繰り返すことで、作業員自身が基本動作の徹底、指示内容の確認、マナーの向上の重要性を再確認し安全輸送に寄与しています。



安全性を確保した輸送

施工現場の安全性を確保する活動推進

ミサワホームでは、施工現場での労働災害を撲滅するために、階層別教育をはじめ、安全パトロール、安全大会など、さまざまな活動を行っています。また施工現場での安全意識を啓発するために、DVD「プロフェッショナルの品格」を利用し、現場の安全な作業や基本マナーの習得を通じて、基本動作の大切さを実感し、実践するための動機付けを行い、全作業員向けの安全ルールとマナーの教育を実施し、充実を図っています。すべての取引先を対象に、安全衛生のスローガンの公募を行い、作業員自身の安全意識の高揚に寄与しています。



DVD「プロフェッショナルの品格」

資材メーカー施工によるCS推進

ミサワホームでは、住宅の基本性能を確実なものとするため、現場での防水工事（外装・屋根・シート防水）を技術開発し、材料生産を手掛ける資材メーカーが直接施工する方式を採用しています。更に、その資材メーカーとミサワホームで定期的に法令・品質・安全・環境等に関する会議やミサワホームによる監査を行い、それらの成果として年1回「改善事例発表会」を開催し発表しています。これらの活動により相互のコミュニケーションを図り、現場品質及びCS向上に寄与しています。



改善事例発表会



技能訓練センター

ミサワホームでは、茨城県常総市に技能訓練センターを開設しています。住まいの工事監理を行う検査員、施工管理を行う現場管理者、工事主任、住まいをつくる大工職・専門職方を主な対象とした研修の施設です。技術・技能をより深く理解できるように、研修は『座学』と『実習』を効果的に盛り込んだカリキュラムとなっています。また、建設の基本である安全教育、マナー教育、環境教育を全ての研修に盛り込み、建設現場における更なるCS向上を目指しています。



技能訓練センター



技能訓練センターの主なプログラム

- ・新任検査員研修
- ・新任現場管理者研修
- ・新任工事主任研修
- ・中堅現場管理者研修
- ・工事主任研修
- ・工事スクールⅠ・Ⅱ
- ・防水技術者研修
- ・新CSスキルアップ研修



HEART

株主(投資家)と共に

ミサワホームグループは企業価値の向上に努め、経営情報を適時かつ適正に開示します。

経営指標及び開示方針 経営情報の迅速かつ公平な開示に努めています。

連結業績ハイライト

WEB

2012年3月期(2011年度)の連結経営成績は、売上高3,785億円(前年比10.9%増)、営業利益119億円(前年比37.3%増)、経常利益109億円(38.4%増)となりました。売上戸数増や、新中期経営計画に基づく事業の多角化推進により、その他事業の売上が伸び、また、資材高騰等をコストダウン等で吸収したことにより営業利益、経常利益も前年を上回り、増収・増益となりました。

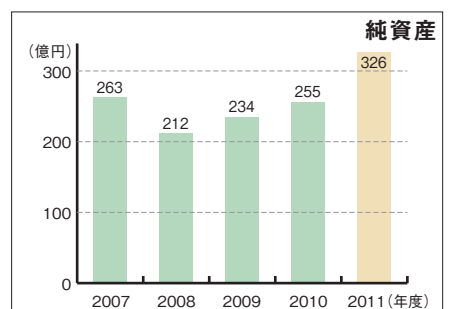
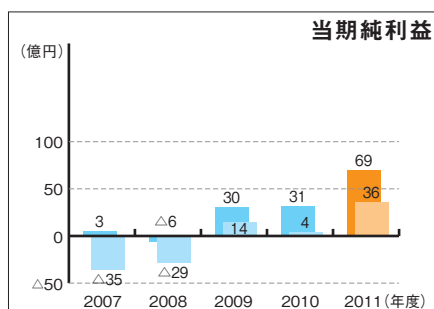
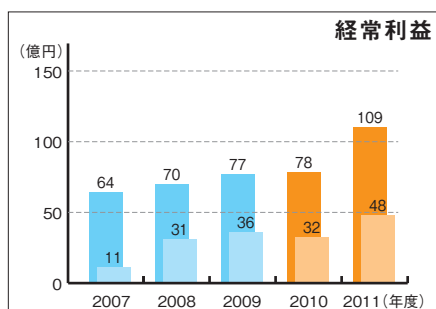
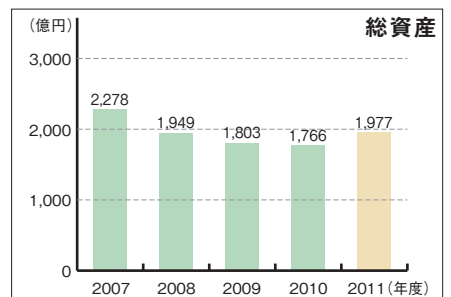
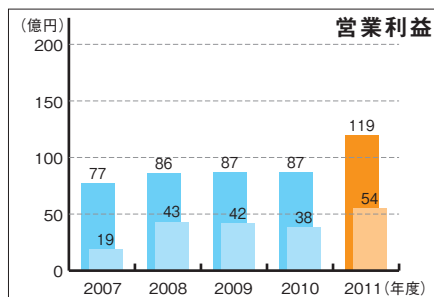
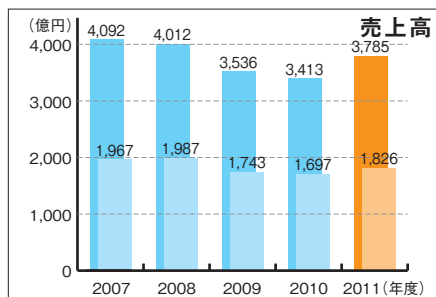
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度(予想)	
						中間期	通期
売上高	409,245	401,204	353,620	341,387	378,574	191,000	393,000
営業利益	7,798	8,680	8,725	8,723	11,976	5,000	12,000
経常利益	6,430	7,001	7,712	7,875	10,900	4,500	11,500
当期純利益	389	△2,983	3,044	3,133	6,919	2,500	7,500
総資産	227,894	194,933	180,306	176,627	197,758	—	—
純資産	26,345	21,243	23,461	25,527	32,623	—	—
1株当たり当期純利益	10.49	△80.43	82.15	84.60	180.95	54.78	177.06
1株当たり純資産	△685.03	△788.11	△711.02	△629.56	431.63	—	—

(百万円)

(円)

■ 上半期 ■ 通期

■ 期末



既存優先株式の処理と新規優先株式発行

新中期経営計画で発表した財務基盤の強化として今年3月に株式会社日本政策投資銀行を割当先として新規に145億円分のD種優先株式を発行いたしました。同時に、この145億円と減資等によって得られる分配可能額により、発行

済みの第3回B種優先株式、第4回B種優先株式及び第1回C種優先株式を自己株式として145億円で購入し、一括消却をいたしました。今後も新中期経営計画に基づく利益目標を着実に達成し、株主価値の向上を図って参ります。

株主への配当方針

WEB 

当社は安定配当の維持を基本としつつ、利益状況と事業展開を総合的に勘案し、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を基本方針としており、これらの決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会となっています。なお、当社では、毎年9月30日を基準日とし、

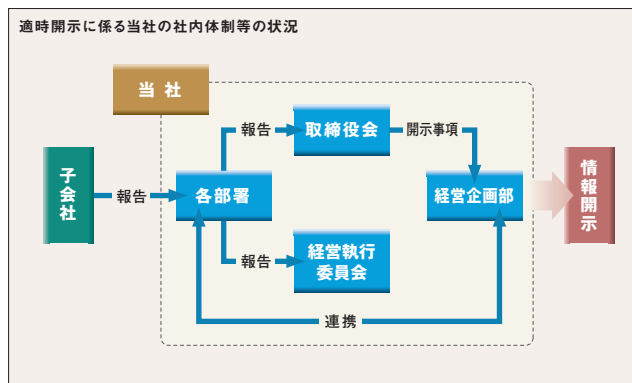
会社法第454条第5項に規定する中間配当をできる旨を定款に定めています。2012年3月期の配当については、今後の事業展開や内部留保などを勘案した結果、復配の目途がついたものと判断し、普通株式1株当たり10円、優先株式1株当たり1,500,000円の配当を実施する予定です。

適時開示に係る基本姿勢

WEB 

ミサワホームはグループの経営ビジョンとして、「社会・お客さま・株主・従業員に満足を提供する」を掲げるなど、株主・投資家との信頼関係を構築・維持するために、重要な会社情報の適時適切な開示が極めて重要な責務であるとの認識に立ち、従来より鋭意適時開示に取り組んでいます。取締役会および経営執行委員会などで決定した事項や子会社および各部署で把握した事項のうち、金融商品取引法および東京証券取引所の定める適時開示規則により開示が要請される重要情報ならびに投資判断に影響を与えらると思われる情報などについて、適宜開示活動に努めています。また、社長をはじめとした主要執行役員ら経営陣が率先して説明責任を果たしています。開示活動の実際にあたっては、経営企画部が主管部署となり、子会社および関連部署と連携して速やかな開示に努めています。当社グループの内部統制活動の監視・

検証としては、監査役の会社法上の監査のほか、弁護士等各分野における専門家の意見を参考にコンプライアンス体制の構築に努める中で、経営会議への報告を行うことにより、健全な業務執行の維持・向上に取り組んでいます。



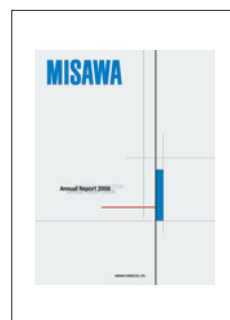
IR情報の開示

WEB 

ミサワホームでは、中間・期末の決算発表後に、機関投資家・証券アナリストの皆さまを対象とした説明会を開催しています。説明会にて頂戴したご意見・ご質問は、証券市場の声として真摯に受け止め、経営やIR活動に反映できるよう努めています。また、工場や展示場などの施設見学会を開催し、当社に対する理解促進を図るとともに、機関投資家・証券アナリストの皆さまと良好な関係を築いています。個人投資家の皆さまには、株主通信を年2回発送しています。さらに当社ホームページのIRサイトに、決算説明会で使用したプレゼン資料や適時開示情報、英語版のアンニュアルレポートを掲載し、迅速かつ公平な開示に努めています。



IR説明会



アンニュアルレポート



HEART

社会と共に

ミサワホームグループはあらゆる地域で、社会資産をデザイン及びストックします。

まちづくり 人にも自然にもやさしい、快適に暮らせるまちづくりを通じて社会に貢献します。

ミサワホームのまちづくり

WEB

快適なまち、暮らしやすいまち、育っていくまちとはどんなまちか。ミサワホームでは、これまでに手掛けた豊富なまちづくりの経験から、そこに住む人の目線の先にこそ、その答えがあると考えました。なによりも大切なのは、暮らしからの発想です。この視点から、美しいまちなみと質の高い住環境を育み、次代への誇りをもって手渡すことのできる「まちづくり」に取り組んでいます。ミサワホームは、まちづくりを“つながり”で考えます。住ま

いの内と外、隣りあう敷地、敷地とみち、さらには、まちの周辺環境とのつながりにいたるまで。そうしたさまざまなつながりが美しいまちなみの景観となり住む人びとの気持ちを豊かにしてくれるのです。ミサワホームは、そんなまちを実現するために、まちづくりのモノサシを、さまざまなスケールでとらえ、心から暮らしを楽しめる。豊かな住環境を描き出します。

「微気候デザイン」を取り入れたまちづくり

WEB

ミサワホームは、先人の知恵と先端の技術を融合させて住まいと屋外環境にわたる住環境全体を設計することを“微気候デザイン”と名づけました。微気候とは、住まいとその周辺の局地的な気候のことで、夏涼しく冬暖かく変えることが可能。この

“微気候デザイン”の手法を導入したまちづくりに、ミサワホームは全国各地で取り組んでいます。



宮崎台「桜坂」

10年後のまちづくり

WEB

美しく育てていくために、きちんとデザインする…。まちづくりのコンセプトは、10年後、20年後のまちなみに、はっきりと現われてきます。ミサワホームのまちづくりでは、住まわれる方々に愛されつづけ、将来にわたってその価値を高めていくさまざまな工夫を提案します。



オナズヒル神戸学園都市



8年後

まちづくりの実績

WEB

自然の形態、環境を極力変えずに開発するなど、自然環境を大切にしながら土地を有効活用する「ランドプランニング」という手法。ミサワホームはこの「ランドプランニング」をカナダやアメリカで実施し日本に導入、日本の風土や慣習に適合するように改善を重ねています。住む人に四季の自然と親しめるエクステリアを提供するとともに、資産価値の高い、美しいまちなみづくりを実現しています。ミサワホームの目指す「まちづくり」は、入居者にとって良いまちなみであると同時に、地域に評価されるまちでありたいと願っています。歴史や気候風土

に培われた、環境共生型のまちづくりに取り組み、その成果は建設大臣表彰など、数々の受賞として認められています。



マリナイースト21碧浜



アーバンスクエア桜風

社会貢献 住まいづくりの企業として、科学、福祉などさまざまな分野で社会に貢献します。

昭和基地の建物の多くはミサワホーム

WEB 

最低気温 -45°C 、風速 60m/秒 といった厳しい気候を設計条件とする南極の建物。極めて高レベルの断熱性・気密性・堅牢性などが求められます。ミサワホームでは1968年の第10居住棟以来、3階建の管理棟、2002年のNHKスタジオ棟など延べ床面積約 $5,500\text{m}^2$ もの建物を受注。厳しい環境で40年以上も続けてきた南極での建設は、ほかでは得られない貴重な経験です。ミサワホームは、極寒の地で鍛えられた先端技術を日本の住まいづくりにも活かしています。



南極昭和基地の建物の多くはミサワホーム

介護・福祉事業

WEB 

ミサワホームは2000年の介護保険制度導入以前から、高齢者問題に正面から取り組むべく、ケア付き住宅事業に進出。介護専用型高齢者住宅「マザアス南柏」、グループホームや品川区高齢者複合施設「ケアホーム西五反田」をはじめ、さまざまなタイプの介護・福祉施設の事業運営を手がけてきました。企画から建設・運営までトータルに対応できる経験を積み重ねています。

地域に根ざした介護ネットワーク

マザアスコート南柏駅前（高齢者専用賃貸住宅）



在宅サービスエリア



マザアスホームヘルプ
（訪問介護・居住介護支援）

マザアス南柏（介護付有料老人ホーム）



だんらん流山（グループホーム）



だんらん松戸（グループホーム）



マザアスホーム憩（小規模多機能ホーム）隣接



だんらん柏（グループホーム）



EARTH

地球にやさしいミサワホームをめざして

住まいという居住環境はもちろん、「EARTH」という地球環境まで視野に入れ、企業活動そのものが環境保全活動となるよう努めます。





地球環境と共に

ミサワホームグループは、企業活動そのものが環境保全活動となるよう努力します。

環境への取り組み

ミサワホームは1997年の「新・環境宣言」を柱に、1998年度～2000年度の中期3ヵ年計画、2001年度～2005年度の新5ヵ年計画、2006年度～2010年度のSUSTAINABLE2010に沿って活動してきました。そして環境宣言も新たに、2011年度～2015年度の環境5ヵ年計画「SUSTAINABLE2015」を策定しました。これからも、グループ一丸となり、環境活動を展開していきます。

環境宣言

【理念】

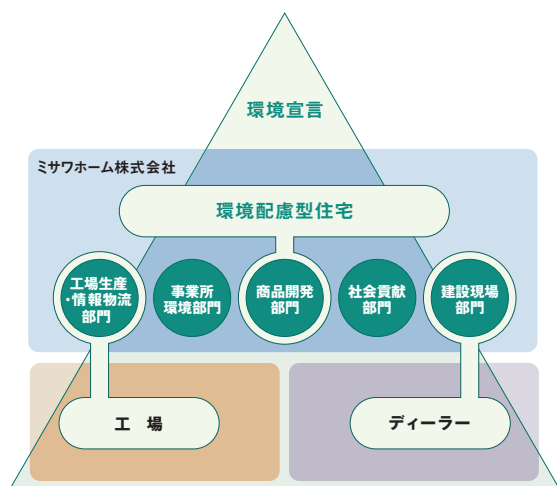
私たちミサワホームグループは、社会生活の基本単位である住まいを提供する企業として、地球環境保全を視野に入れた「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築を目指した取り組みを積極的に推進し、安全・快適な住まいと良好な住環境の形成による持続可能な社会の実現に努めてまいります。

【行動指針】

- 1 ミサワホームグループの一人ひとりが地球環境問題の重要性を認識し、環境保全における自らの役割を考えながら行動します。
- 2 住宅のライフサイクルの各段階において、CO₂削減、資源有効活用、生物多様性保全に貢献します。
- 3 環境関連法規を遵守し、周辺環境、地域環境に配慮した環境を育む企業活動を行います。
- 4 身近な環境保全活動を通して広く社会とコミュニケーションを図ります。
- 5 環境研修を徹底し、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を育成します。

「SUSTAINABLE2015」は、 住まいのスマート化を推進しています。

環境配慮商品や環境配慮部品の開発・使用などによるCO₂排出削減を目指していきます。



SUSTAINABLE2015
2011年度～2015年度

SUSTAINABLE2010
2006年度～2010年度

新5ヵ年計画
2001年度～2005年度

中期3ヵ年計画
1998年度～2000年度

新・環境宣言
1997年策定

1 CO₂削減

新築住宅において、ライフサイクルを通じてCO₂排出量を1990年度比25%削減し、既存住宅において、省エネ改修を推進します。

2 資源有効活用

ディーラー、工場において、3R (Reduce・Reuse・Recycle) 活動を推進し、地球環境負荷の低減を図ります。

3 生物多様性保全

森林生態系に配慮した調達と地域生態系の維持に貢献する活動を推進します。

4 良好な住環境

安全・快適な住環境や景観に配慮した住まいづくり、まちづくりを推進します。

5 社会貢献活動

地球温暖化防止活動や地域社会貢献活動へ積極的に参加します。



環境会計

ミサワホームでは、環境保全対策に関わる費用とその効果を定量的に把握・分析するため、環境会計を2000年度より導入してきました。継続的かつ効果的な環境経営を目指し、ステークホルダー（お客さま、取引先、投資家、NGOなど）の方々への情報開示を推進しています。2011年度も昨年度に引き続き、環境省発表の「環境会計ガイドライン（2005年度版）」を参考に算出し、環境保全活動とそのコスト・効果をより明確にするため、当社独自の集計項目（経済的効果・CO₂削減効果）を加えています。

ミサワホームの環境保全コストおよび効果

項目	環境保全コスト(百万円)			効果	
	ミサワホーム	工場		経済効果 (百万円)	CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂)
		木質※	セラミック		
	設計・開発	生産			
事務所活動	12	—	—	5	212
公害防止	—	114	34	—	—
省エネルギー・創エネルギー	730	15	32	1,110	17,930
省資源		71	—	▲160	▲485
新素材・リサイクル		43	21	—	7,133
長期耐久性		—	—	—	▲166
健康な居住環境	—	—	—	—	—
自然環境	29	3	11	—	—
廃棄物(工場・現場・関東資源循環センター)	195	31	13	2	0
環境マネジメントシステム	62	30	10	—	—
合計	1,028	307	121	957	24,624

集計対象

会計対象期間
2011年4月～2012年3月

会計対象範囲
ミサワホーム株式会社(本社・本館・LACビル・関東資源循環センター)
ミサワホーム工場12工場(木質工場11工場、セラミック工場1工場)

集計方法
環境省発行の「環境会計ガイドライン」の基準に沿って算出、当社独自の項目で集計

環境投資
環境保全に係る新規投資は、ミサワホームが90百万円、木質工場が89百万円、セラミック工場が30百万円。

経済効果
実質的効果及び推定的効果を計上。
実質的効果…環境保全活動の結果得られた節約益、有価売却益を計上。
推定的効果…環境保全活動が寄与したとみなされる付加価値等、仮定的な計算に基づく効果を計上。

CO₂削減効果
環境目的・目標の実績をもとに環境活動評価プログラム(環境省)およびエコアクション21
(社団法人プレハブ建築協会)のCO₂排出量の算出方法により計上。

※木質部品工場(2工場)を含む

■2011年度集計結果について

2011年度のミサワホームグループの環境保全コストは、HEMS(ヘムス)※や蓄電池などスマートハウスの中核となる技術を取り入れた「SMART STYLE E(スマートスタイル イー)」の開発や事務所・工場の省エネルギー化推進により14億5,600万円となりました。環境保全効果については、環境配慮商品の拡充や太陽光発電システム及び高効率設備機器の普及によるCO₂削減に取り組んだ結果、経済効果(みなし含む)は9億5,700万円となりました。CO₂削減効果については、24,624t-CO₂となり、対前年度比5%向上しました。環境保全コスト当たりのCO₂削減指数は16.9t-CO₂/百万円となり、前年度14.3t-CO₂/百万円に対し19%アップとなりました。

※HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)

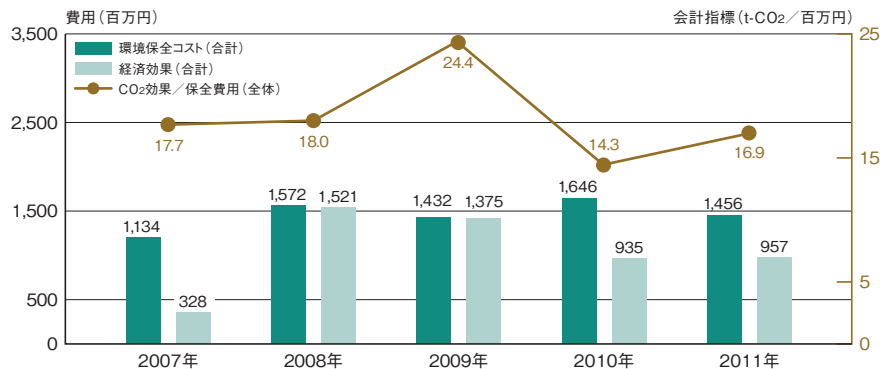
(参考) 環境省 環境会計ガイドラインによる集計

単位:百万円

環境省ガイドライン集計項目		環境保全コスト(費用)		ミサワホーム(本社・本部)		ミサワホーム工場			
		投資額	費用額	投資額	費用額	木質工場※		セラミック工場	
(1)生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)	①公害防止コスト	0	0	15	114	0	34	0	34
	②地球環境保全コスト	90	6	74	15	30	32	0	32
	③資源循環コスト	0	201	0	145	0	34	0	34
(2)生産・サービス活動に伴って上流又は下流で生じる環境負荷の抑制コスト(上・下流コスト)		0	0	0	0	0	0	0	0
(3)管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)		0	52	0	30	0	10	0	10
(4)研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)		0	759	0	0	0	0	0	0
(5)社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)		0	10	0	3	0	11	0	11
(6)環境損傷に対応するコスト(環境損傷コスト)		0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		90	1,028	89	307	30	121	0	0
合 計				投資額	209	費用額	1,456		

※木質部品工場(2工場)を含む

(参考) これまでの環境投資、及び経済効果の推移グラフ



環境マネジメントシステム

環境方針

ミサワホーム株式会社は、ミサワホームグループの環境理念を踏まえ、事業活動を以下の方針に基づいて行います。

- 1

当社の活動、製品、サービスにかかわる環境影響を的確に把握し、この環境方針達成のため、中期的な環境目的と年度環境目標を設定し、定期的な見直しを行うことで環境管理システムの質の継続的改善を図ります。
- 2

住宅のライフサイクルを通じて、環境に配慮し、安心して快適な住まいと良好な住環境の形成を推進します。
- 3

事業所内活動において、環境負荷の低減を図るため、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減に努めます。
- 4

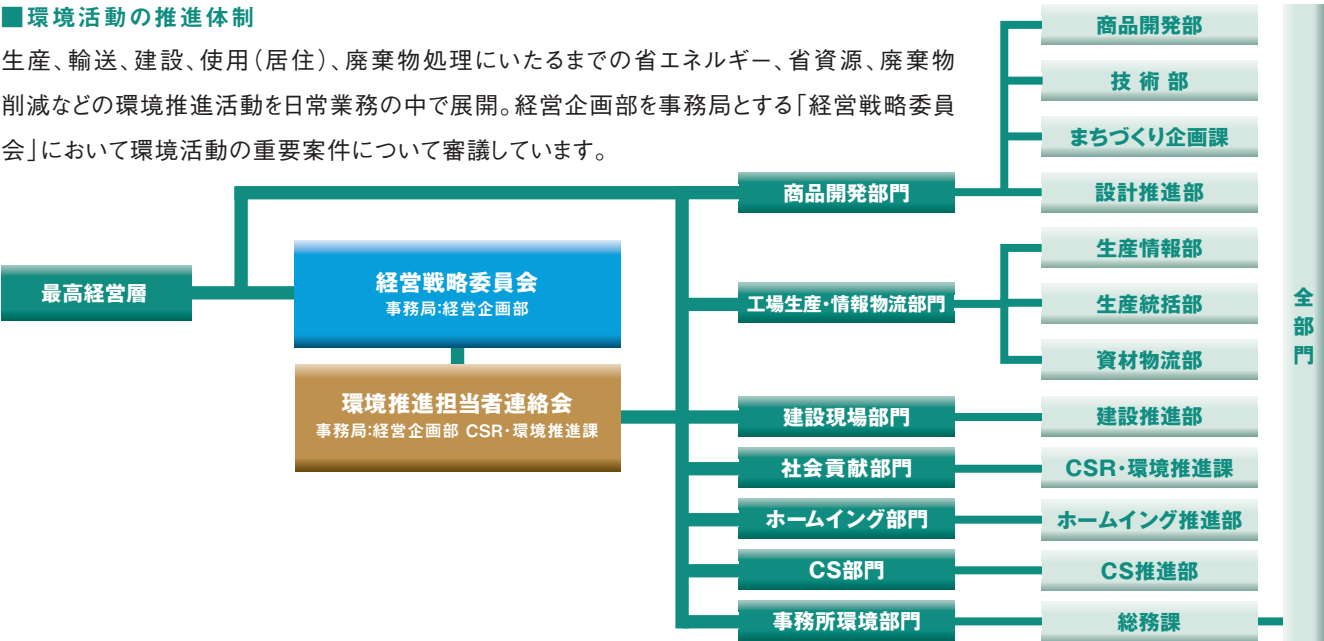
環境関連の法律・規則・協定ならびに自主的に定めた規制や基準を遵守し、環境保全を図ります。
- 5

環境保全、社会貢献などの協働活動の機会を通じて、当社にかかわる方々との環境パートナーシップを強め、広く社会と双方向のコミュニケーションを図ります。
- 6

環境教育を通じて一人ひとりの環境意識の向上を図り、持続可能な社会の実現を目指して社会・地球における環境保全活動を実施していきます。

環境活動の推進体制

生産、輸送、建設、使用（居住）、廃棄物処理にいたるまでの省エネルギー、省資源、廃棄物削減などの環境推進活動を日常業務の中で展開。経営企画部を事務局とする「経営戦略委員会」において環境活動の重要案件について審議しています。



ISO14001 認証取得

1997年、ミサワホーム松本工場が業界初の環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001認証を取得以来、商品開発部門から生産工場、関連会社にいたるまでグループ全体で認証取得を行い、現在、ミサワホーム本社・本館、11工場及び関連企業2社が取得しています。また、内部・外部監査等を通して事業活動の継続的改善に努めています。

ISO14001認証取得工場・会社一覧

工場・会社……………取得年月日		
木質工場	松本工場……1997年6月13日	木質工場
	福岡工場……2000年7月1日	磯原工場……2001年4月20日
	沼田工場……2000年12月1日	札幌工場……2001年8月23日
	岩手工場……2001年1月1日	岡山工場……2003年5月31日
	梓川工場※……2001年2月1日	セラミック工場
	福井工場……2001年3月24日	名古屋工場……2001年3月31日
	山梨工場……2001年3月24日	本社・本館
		商品開発を含む全部門 1999年2月4日
		関連会社
		ミサワホームフィンランド 1999年12月4日
		ミサワホームイング多摩 2006年12月9日

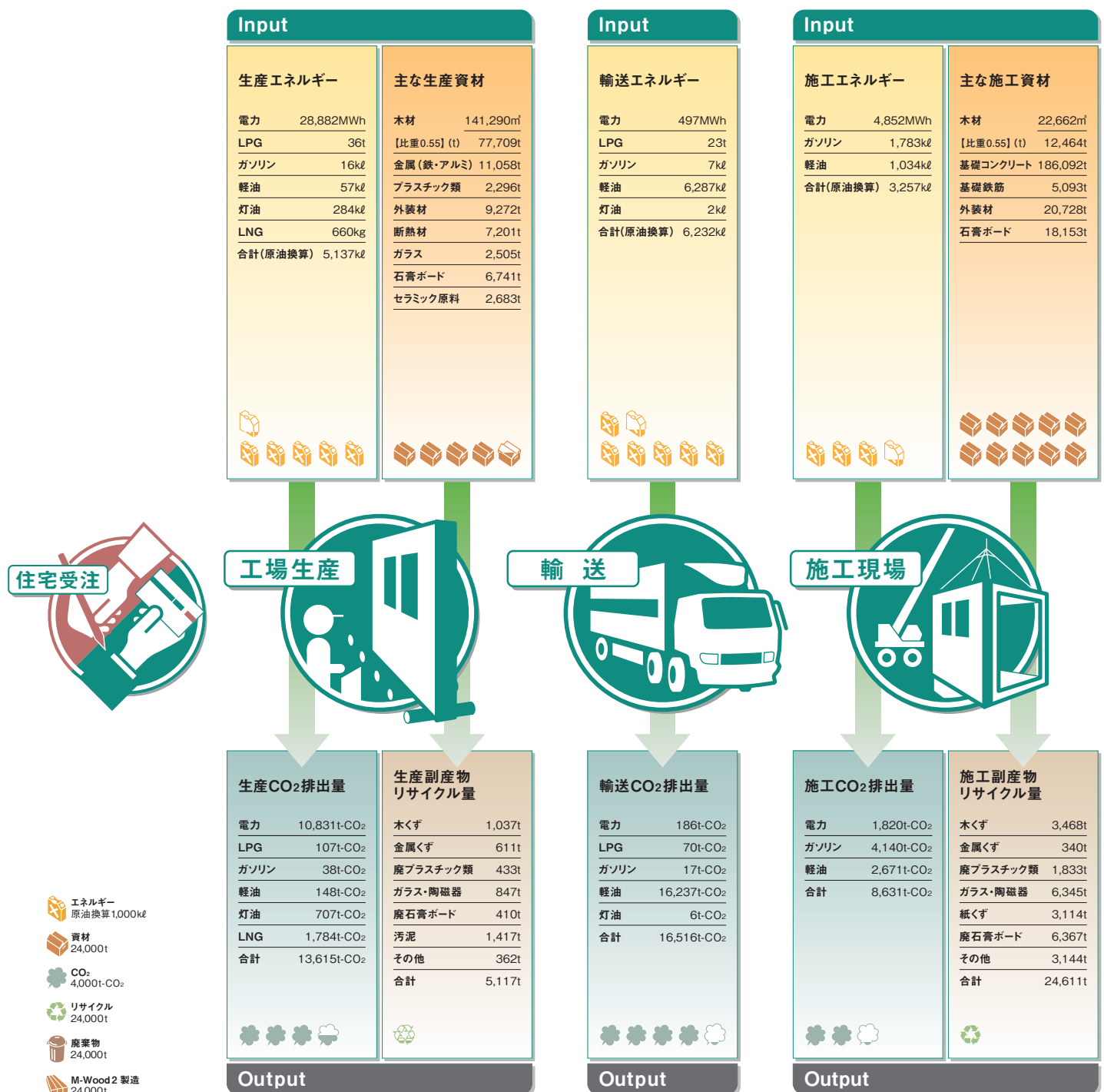
※木質部品工場

2012年3月末現在



マテリアル&エネルギーフロー

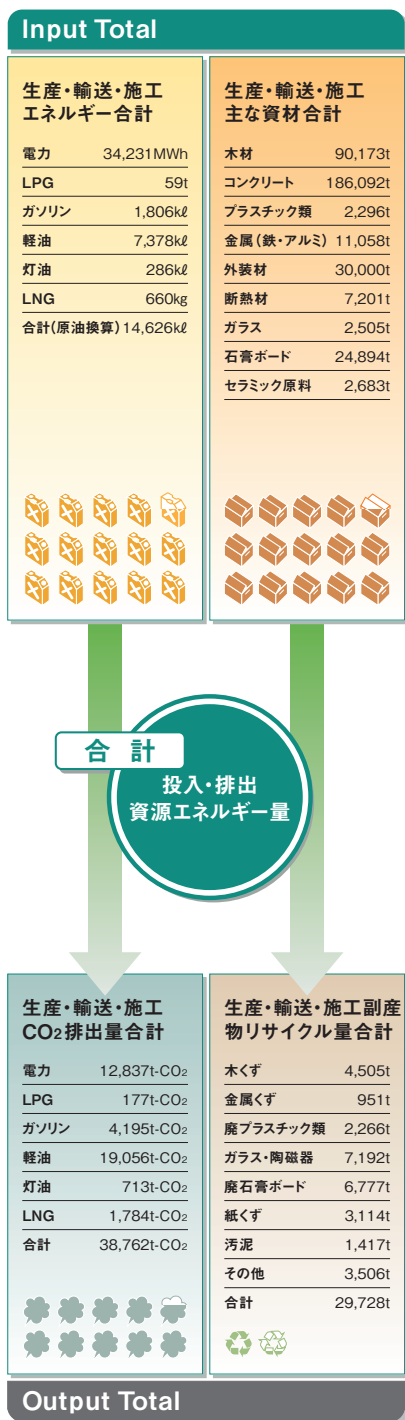
住宅の生産、輸送、施工、居住、解体には、多くの資材とエネルギーが投入され、廃棄物や温室効果ガス(CO₂)などが排出されています。ミサワホームでは2011年度の販売実績に基づいて、ライフサイクル(生産・輸送・現場・居住段階)ごとの資材とエネルギーをインプットとし、廃棄物や温室効果ガス(CO₂)などをアウトプットとして集計し、「マテリアル&エネルギーフロー」としてまとめています。



【算出根拠】※CO₂排出量:各種エネルギーからCO₂への換算は環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について」及び「平成22年度の電気事業者ごとの実排出係数・調整後排出係数等の公表について」による

■工場生産	資材、エネルギー、 廃棄物、CO ₂ 排出量	木質工場9、木質部品工場2 セラミック工場1 計12工場の合計
■輸送	エネルギー	車輦(軽油)分(総走行距離×燃費)、輸送基地分の合計
■施工現場	電気	使用電気量(kWh/日・棟)×平均工期×施工棟数
	軽油	建機稼働時(h/棟)×燃費(ℓ/h)×施工棟数 建機平均移動距離(km/棟)×燃費(km/ℓ)×施工棟数

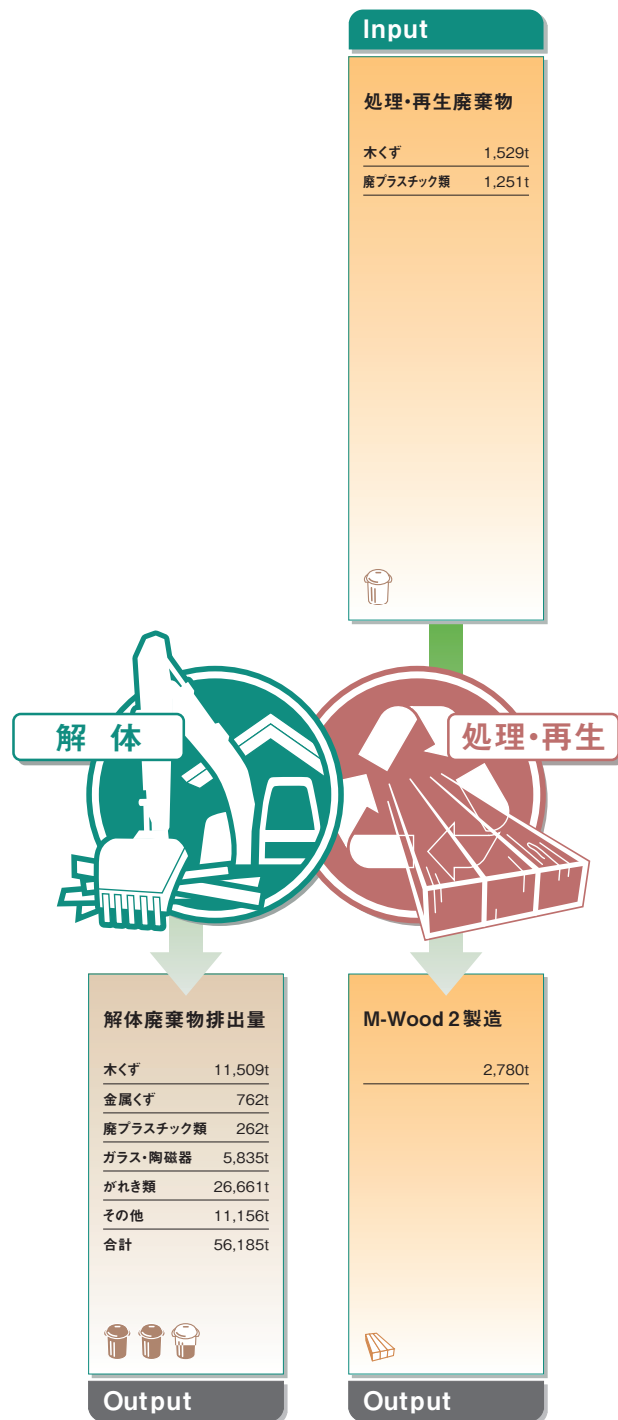
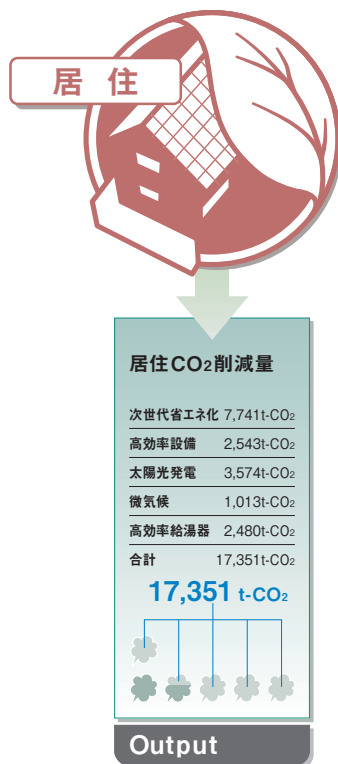
■施工現場	ガソリン	平均職人投入数(人/棟)×平均移動距離(km/人)×燃費(ℓ/km)×施工棟数
	廃棄物	自社調査による平均廃棄物排出量×施工棟数
■居住	CO ₂ 排出量	1世帯あたりのCO ₂ 排出量(3,123kg-CO ₂)×施工棟数 「平成23年度版 環境白書」[国勢調査]データに基づき推計
■解体	廃棄物	「住宅・土地統計調査」「木造建築物解体工事の現場」 (社団法人全国解体工事業者団体連合会)データに基づき推計
■処理・再生	M-Wood2製造	平成23年度実績



【年間居住段階CO₂削減】 17,351 t-CO₂

ミサワホームが2011年度に販売した住まいにおいて、太陽光発電システム、熱交換型24時間フロアセントラル換気システムの導入や、IHクッキングヒーター、エコキュート、エコジョーズなどの高効率・省エネルギー機器を利用した環境配慮設計により、年間居住段階約24,011t-CO₂のうち17,351t-CO₂を削減できた計算となります。

参考:一般廃棄物排出量1,445kg(4人家族)(892kg/世帯)(平成23年度版 環境白書、平成22年国勢調査) CO₂排出量5,060kg-CO₂(4人家族)(3,125kg-CO₂/世帯)(平成23年度版 環境白書、平成22年国勢調査)





「SUSTAINABLE2015」にもとづく、「CO₂削減」「資源有効活用」「生物多様性保全」「良好な住環境」「社会貢献活動」といった環境活動における、2011年度の実績と自己評価を掲載しています。CO₂排出量を1990年度比25%削減目標にしましたが、微気候商品や太陽光発電システムの普及拡大などにより1990年度比31.6%を達成。2012年度からも引き続きCO₂削減活動に努めていきます。

2011年度環境活動の実績と自己評価

目的	部門	具体的指標	2011年度		判定	2012年度目標	自己評価
			目標	実績			
CO ₂ 削減	居住段階	次世代省エネ基準の住宅の普及率 新築戸建住宅における次世代省エネ基準以上（品確法4等級相当以上）対応住宅の普及率	普及率96%	普及率98%		普及率98%	長期優良住宅促進法や住宅エコポイントを受けるには、次世代省エネ基準が必須の為、標準仕様として設定しました。
		微気候システム搭載住宅の普及率 自然環境や気候風土をいかした快適な室内環境設計対応住宅の普及率	普及率44%	普及率71%		普及率71%	環境に配慮した部品の開発や性能の向上などにより、微気候に取り込む項目を拡大したことで目標を達成し、2012年度目標を改定しました。
		太陽光発電搭載住宅の普及率 太陽光発電システム搭載住宅の普及率	普及率32%	普及率40.4%		普及率50%	住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金の継続や太陽光発電システム標準商品及びキャンペーンなどの実施により目標値を達成しました。
		高効率給湯器の普及率 エネルギーの消費率にすぐれた給湯器の普及率	普及率65%	普及率63.6%		普及率65%	潜熱回収型ガス給湯器や家庭用コージェネレーションシステムに付属する給湯器などトップランナー方式を導入し、採用を推進しています。
	生産段階	工場生産段階におけるCO ₂ 排出量削減 木質工場、セラミック工場、部品工場における生産及び事務所活動段階における棟当たりCO ₂ 排出量の削減	排出量 2010年度比 99.6%	排出量 2010年度比 89%		排出量 2010年度比 99.2%	7月～9月における輪番制の導入や各工場における節電への積極的な取り組みを実施しています。
	輸送段階	輸送段階におけるCO ₂ 排出量削減 部品調達物流及び納品物流段階における棟当たりCO ₂ 排出量の削減	排出量 2010年度比 維持	排出量 2010年度比 83.5%		排出量 2011年度比 維持	納品物流において、荷物の積込基準の見直しや配車基準の見直しを実施しています。
	事務所活動	事務所活動におけるCO ₂ 排出量削減 チャレンジ25などの環境活動への参加による事務所におけるCO ₂ 排出量の削減	排出量 2010年度比 99%	排出量 2010年度比 82.3%		排出量 2011年度比 99%	事務所のサイトの統一や常時・非常時の使用部署を明確にすることで事務所からの一次エネルギーを削減します。

自己評価基準 環境行動計画における目標を気象の天気表示にして3段階で表現しました。

 今年度、目標達成。
  前年度より改善しましたが、今年度目標未達。
  前年度より改善されず、今年度も未達。

目的	部門	具体的指標	2011年度		判定	2012年度目標	自己評価
			目標	実績			
資源有効活用	M・Wood	M-Woodの継続的利用の推進 端材などを再利用して開発した木素材のベレット使用量	使用量 2010年度比 維持	使用量 2010年度比 88.6%		使用量 2010年度比 維持	商品の内部造作材や内部建具及び家具類の標準化を推進します。
		M-Wood2の継続的利用の推進 廃材や廃プラを再利用したリサイクル木素材のベレットの使用量	使用量 2010年度比 維持	使用量 2010年度比 81.8%		使用量 2010年度比 維持	造園事業との連携や海外市場などへの取り組み拡大に努めます。
	廃棄物量	施工現場における廃棄物量 木質系新築戸建施工現場で発生する廃棄物排出量	排出量 2010年度比 97%	排出量 2010年度比 96.7%		排出量 2010年度比 94%	関東資源循環センターによる排出量を把握し、削減活動の実施と排出先への情報フィードバックを推進します。
		施工現場における廃棄物量 ハイブリッド系新築戸建施工現場で発生する廃棄物排出量	排出量 2010年度比 97%	排出量 2010年度比 104.9%		排出量 2010年度比 94%	
	グリーン購入	事務用品グリーン購入率 事務所内で使用する事務用品のグリーン購入率	購入率52%	購入率44.2%		購入率51%	環境物品などの調達推進による取り組みと環境ラベルなど有効な情報の提供により、目標達成に努めます。
生物多様性保全	木材調達率	認証された木材調達使用率 森林認証（認証過程材を含む）を受けた木材の使用率 ※1 Forest Stewardship Council ※2 Programme for the Endorsement of forest Certification schemes ※3 Japanese Agricultural Standard	使用率67%	使用率82%		使用率85%	取引先によるFSC※1、PEFC※2、JAS※3または同等の森林認証製品の積極的な調達を推進し、目標の前倒し達成を行い、新たな数値目標を設定します。
	木材使用量	棟当たり木材使用量 木質系住宅の工場生産段階における木材使用量	使用量 2010年度比 99.9%	使用量 2010年度比 102.8%		使用量 2010年度比 99.8%	工場生産における、構造体及び部材のサブアッシーやプレカートの推進とともに、端材などの有効利用に取り組んでいきます。
良質な住環境	環境共生住宅率	環境共生住宅認証棟数 分譲住宅における環境共生住宅認定制度採用による認証数	認証数30棟	認証数69棟 (5月31日時点)		認証数200棟	環境共生住宅を標準とした分譲商品を設定し、分譲事業への採用を推進します。
社会貢献活動	社会貢献	国内クレジット制度への参加 ミサワホームのオーナー様宅のCO ₂ 排出削減量を取りまとめして排出権化	CO ₂ 排出権 2009年度 実測計測分 5t-CO ₂	CO ₂ 排出権 2010年度 実測計測分 26t-CO ₂		CO ₂ 排出権 2011年度 実測計測中	毎年度末に各家庭の太陽光発電システムによる総発電量・売電量などからCO ₂ 排出削減量を算出し、収益はECOな社会貢献に活用していきます。



CO2削減 ミサワホームの企業活動によるCO2排出量を、2015年度までに1990年度比25%削減することを目指しています。

全国の工場でもさまざまな省エネルギー施策を実施

ミサワホームの全国の工場では、生産効率の向上を図ると同時に、省エネルギーにつながるさまざまな施策を積極的に実施。たとえば岡山工場では、バイオマス廃棄物熱利用システムや太陽光発電システムを導入。生産過程で発生する木粉・木屑を自動回収し、サーマルリサイクルシステムによって木材廃棄物をいっさい排出せず、事務所照明電力を100%自給できます。また、全国の工場においてさまざまな省エネルギー活動を推進しています。



松本工場



工場内部

「エコレールマーク」の企業認定

ミサワホームでは、物流の効率化を図るべく、『モーダルシフト』という言葉が使われ始める前から鉄道貨物やフェリーを利用していました。現在、500km以上の長距離輸送に鉄道貨物やフェリーを利用し、輸送ロスのない効率的な物流を実現させています。500km以上の輸送におけるモーダルシフト化率は42.9%です。この結果CO2排出量の少ない鉄道輸送に積極的に取り組む企業として、2006年「エコレールマーク」の認定も受けています。



資材の長距離輸送にはJRコンテナを活用



事務所活動における省エネルギー活動

ミサワホームでは、事務所内における電気、ガス、水道使用量削減への取り組みを継続的に行っています。政府が推進する国民運動「チャレンジ25」にも参加し、省エネ機器の積極的導入や昼休みの一斉消灯の呼びかけに加え、照明器具のLED化を行うなど、エネルギーの節約に取り組んでいます。また、昨夏の各事務所ごとの節電対策については、空調温度の遵守や、使用していない場所(会議室など)の電源OFF、出力関連複合機の省エネモードの設定などを実施。目標値前年度比▲15%に対し、実績対前年度比▲20%と目標を達成しました。さらに2011年12月には、事務所のサイトを統合。レイアウトの変更などによる出力関連機器の最適配置や会議資料のOA化によるペーパーレス化の推進、サイト間の移動エネルギーの削減など、さまざまな無駄を省くことで、業務効率の向上を実現しました。



配布資料は必要最低限に抑制

資源の有効活用 地球資源を有効活用する新素材の発明や、環境に配慮した木材使用を推進しています。

環境先進国フィンランドからの木材調達



フィンランドは、森林が減少しないように年間の伐採量を生長量以下に制限している環境先進国。「ミサワホーム・フィンランド工場」では、伐採した木をまるごとムダなく活用するシステムを構築しています。1本の丸太から製材だけでなく、製材過程で発生する樹皮などは隣接する火力発電所の燃料に、木片はパルプの原料に利用するなど100%使用し、森林資源の有効活用に努めています。こうした取り組みにより、フィンランド工場は2006年、国際的な森林認証プログラムPEFC-CoC認証を取得しました。

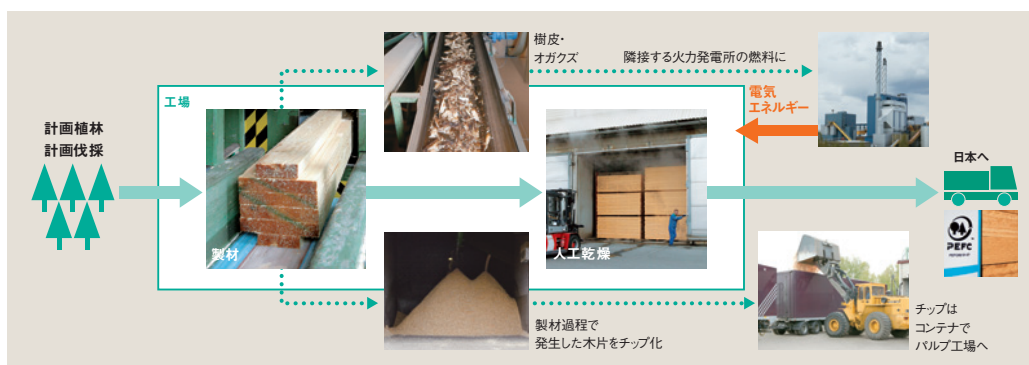
※PEFC: Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes



ミサワホーム・フィンランド工場



PEFC-CoC認証書



中国では環境負荷の少ない積層合板を生産

中国のミサワホーム工場では、住宅の構造材などに用いるLVL（単板積層材）の生産拠点として、JAS認定を取得。工場内の木材乾燥工程などの熱源には廃材を再利用し、排煙も浄化処理してから排出するなど、環境にも配慮しています。



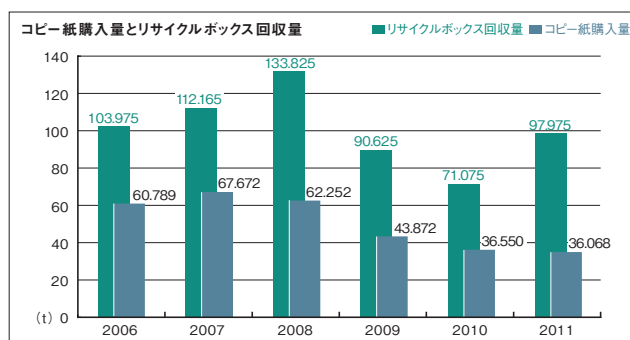
中国・臨沂(リンイ)のミサワホーム工場



製造工程

事務所活動における省資源への取り組み

ミサワホームでは、1997年からペーパーレス化と同時に使用した紙の再利用に努めてきました。2011年度のリサイクルボックス回収量は97,975kgで、これは直径14cm・高さ8mの原木1,959本を保全した計算です。今までの15年間に事務所活動で再資源化した使用済み用紙総量は、累計で約1,218t。これは森林面積に換算すると243,490㎡で東京ドーム約5.2個分相当となります。





ゼロ・エミッション 新築現場のゼロ・エミッション化を達成しました。

独自のガイドに基づく廃棄物の適正処理

ミサワホームでは、業界団体のガイドラインなどを参考に独自のガイドを作成しました。新築現場より発生する廃棄物処理に関する「建設廃棄物適正処理ガイド」や「廃棄物適正処理ガイド

(工場版)」を随時改訂し、最新情報を全国のディーラーや工場にWeb上で発信。各現場で適正な作業を実行しています。

生産工場におけるゼロ・エミッション化

2007年度には、全国の生産工場にて生産工程から排出される廃棄物の埋め立て及び単純焼却を行わない、リサイクル率100%としたゼロ・エミッション化を達成しました。また今年度より「SUSTAINABLE2015」に基づき、生産工場における廃棄物量の削減やリサイクル内容の向上に積極的に取り組んでいます。



岡山工場

施工現場におけるゼロ・エミッション化

東日本大震災の影響で最終審査が実施できなかった拠点についても審査を行い、新築施工現場におけるゼロ・エミッション化を全国の拠点*で達成しました。2009年度より稼働している関東資源循環センターは、2011年1月にトヨタホームと共同で広域認定を取得し、建設廃棄物の受け入れを実施。施設を2社が利用するスケールメリットをいかし、循環型社会の構築に向け、廃棄物の減量化を中心とした3R活動に継続して取り組んでいます。



新築施工現場におけるゼロ・エミッション化の実施

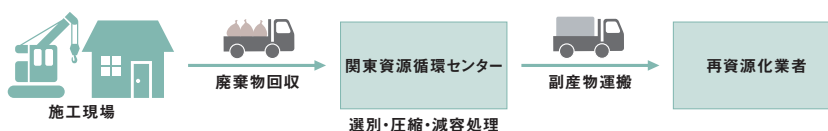


廃棄物回収専用ボックス(事例)

*ミサワホームの直系、独立系のディーラーの建設拠点を対象とする。

「広域認定制度」を利用した廃棄物処理ルート

① 関東資源循環センターを拠点とした直接回収の処理体制



② 集荷拠点を経由した処理体制



「関東資源循環センター」の概要

- ・センター所在地／千葉県野田市はやま1-5
- ・センター面積／約2,900㎡(878坪)
- ・敷地面積／25,580㎡(7,738坪)
- ・廃棄物処理能力／年間12,000ton
- ・廃棄物処理内容／新築施工現場で10品目に分別された廃棄物をさらに選別、圧縮、減容
- ・分別品目数／ダンボール、プラスチック類、石膏ボードなど約40品目



生物多様性保全 独自の「木材調達ガイドライン」を策定し、木材調達における目標達成に努めています。

木材ガイドラインの策定



ミサワホームは、木質系工業化住宅のNo.1メーカーとして多くの森林資源を利用していますが、2010年6月に、木材の責任ある調達を約束する姿勢を公表し、地球規模で求められている生物多様性の保全という社会的責任を果たすことを目的に、木材調達方針などをまとめた、独自の「木材調達ガイドライン」を策定しました。「生物多様性」とは、生態系、種、遺伝子などをすべて含む、地球上における生物の多様さと自然の営みの豊かさを表した言葉です。森林資源を利用する企業には、自社が使用する木材や紙の減量がどここの森林からどのように伐採されたのかを確認し、森林破壊に加担しないような木材製品を積極的に購入する「責任ある林産物の購入」が求められています。ミサワホームでは木質系住宅の構造材として原木換算で年間約49万㎡の木材を使用（2011年実績）。計画植林・計画伐採を政策として掲げている環境先進国フィンランドで国際的な森林認証プログラムPEFCのCoC認証を取得した製材工場からパネル用芯材を調達しています。今回策定した木材調達ガイドラインは大量な木材を利用する企業として、木材の責任ある調達を約束する姿勢を公表し、地球規模で求められている生物多様性の保全という社会的責任をより一層果たすことを目的としています。また、木材調達ガイドラインでは調達方針を確実なものとするため、木質系工業化住宅の構造体を対象とした

3段階のレベルの目標を設定しています。「供給源の特定（Level 1）」では森林供給源まで遡ったサプライチェーンを明確にするために仕入れ先の調査を実施し、2010年度から引き続き2011年度も100%の目標を達成しました。「伐採権の確認（Level 2）」では森林供給源の合法性を検証し、2010年度から引き続き2011年度も目標の100%を達成しました。「認証材の使用（Level 3）」は森林認証を受けた木材（認証過程材を含む）の使用比率を2014年度までに70%にすることとしていましたが、芯材・構造用集成材など多量に使用している仕入れ先企業と連携できたことで、目標を大きく上回る3年前倒しで82%の実績を上げることができました。このことから、Level 3の目標設定を85%に見直し、木材ガイドラインに基づき、今後も仕入れ先企業と連携した活動に取り組み、目標の達成に努めます。



原木を直接調達し、環境配慮を徹底。



木材調達ガイドライン

木材調達における目標と計画

実績 計画





サイトレポート ミサワホームは、生産工場の環境基準の遵守、環境負荷の把握を徹底しています。

有害化学物質削減の推進

ミサワホームでは新規の部品部材のうち、接着剤・塗料などの製品安全データを基に独自のデータベース化をPRTR法の施行に

合わせて構築し、最新の法改正等に合わせシステムの集計精度を高める取り組みを続けています。

PRTR調査結果(2011年度分全体集計)

化学物質	毒性ランク	用途	総取扱量(トン)	排出量・移動量(トン)				消費(トン)	リサイクル(トン)
				大気	水質	土壌	移動(廃棄物)		
キシレン	第1種	塗料 他	35.61	35.25	0.00	0.00	0.35	0.01	0.00
エチルベンゼン	第1種	塗料 他	29.63	29.33	0.00	0.00	0.29	0.01	0.00
グリオキサル	第1種	接着剤原料材	19.27	0.00	0.00	0.00	0.18	19.09	0.00
メチレンビス(4,1-フェニレン)＝ジイソシアネート	第1種	塗料	14.99	0.01	0.00	0.00	0.15	14.83	0.00
トルエン	第1種	塗料 他	13.33	13.16	0.00	0.00	0.13	0.04	0.00
酢酸2-エトキシエチル	第1種	造作材用塗料	8.66	8.57	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	第1種	塗料可塑剤	3.76	0.00	0.00	0.00	0.34	3.42	0.00
トリエチルアミン	第1種	接着剤原料	3.72	0.00	0.00	0.00	0.04	3.68	0.00
1,3,5-トリメチルベンゼン	第1種	外壁材塗料	2.57	2.54	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00
塩化第二鉄	第1種	排水処理薬剤	2.52	0.00	0.00	0.00	2.52	0.00	0.00
クメン	第1種	塗料	2.14	2.12	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00
ノルマルヘキササン	第1種	設備保護離型剤	0.88	0.00	0.00	0.00	0.07	0.81	0.00
トリエチレンテトラミン	第1種	役物用接着剤	0.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.69	0.00
ノニルフェノール	第1種	刃物洗浄剤 塗料	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00
ジクロロメタン	第1種	ラッピング用接着剤	0.23	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル	第1種	防腐防蟻剤	0.23	0.00	0.00	0.00	0.02	0.21	0.00
モルホリン	第1種	ボイラー清缶剤	0.16	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00
ヒドラジン	第1種	ボイラー清缶剤	0.13	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00
フェノール	第1種	役物接着剤	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00
フタル酸ジノルマルブチル	第1種	塗料	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル	第1種	塗料界面活性剤	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
メタクリル酸メチル	第1種	コンクリート補修剤	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計			138.99	91.25	0.29	0.00	4.23	43.22	0.00

全国生産工場の環境パフォーマンス



ミサワホームでは環境情報公開の一環として、全国にある12カ所の生産工場における原油換算のエネルギー使用量や廃棄物

総発生量、再資源化率、化学物質の移動量や排出量などのパフォーマンスデータを定期的に調査、公表しています。

工場名	省エネルギー(地球温暖化防止)		リサイクル	PRTR(トン)					
	原油換算(キロリットル)	t-CO ₂		再資源化量(トン)	総取扱量	大気	水質	土壌	移動(廃棄物)
岩手工場	307	465	118	1.49	0.06	0.00	0.00	0.00	0.02
松本工場	731	1,079	244	2.62	0.23	0.00	0.00	0.00	0.02
沼田工場	1,171	1,768	429	20.50	0.22	0.16	0.00	0.00	2.70
岡山工場	914	1,385	520	5.50	0.49	0.00	0.00	0.00	0.10
福岡工場	482	725	269	1.68	0.05	0.00	0.00	0.00	0.02
札幌工場	461	823	550	1.60	0.16	0.00	0.00	0.00	0.02
山梨工場	385	604	47	2.16	0.00	0.13	0.00	0.00	0.03
磯原工場	200	304	118	1.69	0.71	0.00	0.00	0.00	0.01
福井工場	178	300	67	1.06	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00
梓川工場※1	1,537	2,274	157	4.06	0.22	0.00	0.00	0.00	0.34
富山工場※1	174	284	303	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
名古屋工場※2	2,136	3,604	2,294	96.57	88.59	0.00	0.00	0.00	0.97

※1 木質部品工場 ※2 セラミック工場

環境コミュニケーション ミサワホームの環境活動をより多くの方々にご理解いただけるよう努めています。

ミサワオーナーの森 宮城



「MISAWAオーナーの森 宮城」の森林整備活動も5年目を迎え、地域の皆さまに親しまれる憩いの森に生まれ変わりました。2011年度は、枯損木の伐採や遊歩道の刈り払い作業など、維持管理活動を年5回実施。2007年1月から5年契約で行ってきた森林整備活動（宮城県の「わたしたちの森づくり事業」）は、2011年12月で期間終了となりましたが、木を扱う住宅メーカーとして環境保全活動に積極的に取り組み、これからも地域に愛される企業

となることを目指し、森づくり事業への参画を5年間継続・更新。森林環境の維持・保全活動に取り組んでいきます。



設置されたプレート

フィンランド工場の植林活動

ミサワホーム・フィンランド工場は、ミサワホームにとって重要な木材の調達・加工拠点です。フィンランド工場では昨年5月、創業以来フィンランドの資源を活用してきた感謝の意を込めて「森の日」と銘打ち、スプリスの苗9,000本の植林活動を実施しました。順調に木が生育すれば、70年後にミサワホーム用の木材

として活用できるようになります。フィンランド工場は今後も、大切な資源を次の世代に受け継ぐ活動を行っていきます。



フィンランド工場の職員

杉並区の「土曜日学校」に参加

東京都杉並区の高井戸東小学校とのコラボレーション企画をこれまでに5回実施しています。今回のテーマは「地域の小鳥たちの食料不足を助けてあげよう」。高井戸に住む鳥の種類や生態系について説明し、クイズや工作などの遊びの要素を取り入れながら、身近な自然環境と共存することの大切さを伝えま

した。子どもたちの環境学習、情操教育という観点からも大変有意義な機会であり、引き続き実施する予定です。



高井戸東小学校での「土曜日学校」

環境活動の歩み 業界をリードする環境活動をつぎつぎと展開しています。

ミサワホームは創立以来、省エネルギー住宅の開発に取り組み、1974年にエコ・エネルギーシステム計画を発表。1981年にはゼロ・エネルギー構想を打ち出し研究開発に着手。1998年、ついに世界初となるゼロ・エネルギー住宅の商品化に成功しました。その後も地球資源を有効利用した新しいリサイクル素材

「M-Wood」や「M-Wood2」の発明など、常に業界をリードする環境活動を次々と展開しています。



環境実験室

ミサワホームグループネットワーク

事業分野ごとに特色をもつグループ会社が連携し、多様なニーズにきめ細かく対応しています。



ミサワホームオールディ
(賃貸管理・不動産情報)



ミサワホーム総合研究所
(研究・開発・調査)



CSロジスティクス
(住宅部資材の運送)



ディーラー
(不動産売買・仲介・流通)



テクノエフアンドシー
(住宅部資材の調達・製造・販売)



マザアス
(高齢者介護施設等の運営)



木質系・セラミック系ディーラー
(住宅販売・施工・AM)



ホームイングディーラー
(増改築・リフォーム)



ミサワホーム
(商品開発・販売企画など)



メディアエムジー
(広告・マーケティング)



ミサワエクステリア
(外構・造園)



ミサワMJホーム
(木造軸組住宅の販売・施工)

ミサワホーム株式会社（東証、大証、名証各1部）03-3345-1111

住宅事業

本質デザイナー	【北海道】	
	ミサワホーム北海道 (北海道)	011-822-1111
	【東北】	
	東北ミサワホーム (青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)	022-706-0330
	ミサワホーム庄司 (福島)	0244-24-1818
	堀江ミサワホーム (福島)	0246-21-3385
	【関東甲信越】	
	ミサワホーム下館 (茨城)	0296-28-3911
	栃木ミサワホーム (栃木)	028-610-0330
	上信ミサワホーム (群馬)	0274-64-1385
	ミサワホーム西関東 (群馬・埼玉)	048-855-5711
	ミサワホーム東関東 (茨城・千葉)	043-309-3111
	旭ミサワホーム (千葉)	0479-63-7633
	ミサワホーム東京 (東京・神奈川)	03-5344-6811
	ミサワホーム多摩 (東京)	042-527-3383
	湘南ミサワホーム (神奈川県)	0466-33-6666
	ミサワホーム新潟 (新潟)	025-232-3330
	ミサワホーム上越 (新潟)	025-521-0330
	ミサワホーム甲信 (長野・山梨)	0263-25-9252
	ミサワホーム東長野 (長野)	0267-68-4411
	【北陸】	
	北陸ミサワホーム (富山・石川・福井)	076-222-1558
	ミサワホーム富山 (富山)	076-433-4411
	【東海】	
	ミサワホーム静岡 (静岡)	054-257-1111
	ミサワホーム東海 (岐阜・愛知・三重)	052-238-0717
	【近畿】	
	ミサワホーム近畿 (滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良)	06-6341-1301
	ミサワホーム杉橋 (滋賀)	0740-22-3750
	和歌山ミサワホーム (和歌山)	073-436-6233
	ミサワホーム高階 (兵庫)	0794-82-0017
	【四国】	
	ミサワホーム四国 (徳島・香川・愛媛・高知)	087-868-4711
	【中国】	
	ミサワホーム中国 (JASDAQ) (鳥取・島根・岡山・広島・山口)	086-245-3233
	【九州】	
	ミサワホーム九州 (福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)	092-431-3390
	ミサワホーム佐賀 (佐賀)	0952-23-7141

セマンティックデザイナー	【東北】	
	ミサワセラミックホーム仙台 (宮城)	022-284-6011
	【関東甲信越】	
	ミサワセラミックホーム栃木 (栃木)	028-610-0330
	ミサワセラミックホーム西関東 (群馬・埼玉)	048-855-5761
	ミサワホーム東関東セラミック (茨城・千葉)	043-309-2115
	ミサワホームセラミック (茨城・千葉)	03-3247-8300
	ミサワセラミックホーム新潟 (新潟)	025-232-3380
	ミサワホーム甲信セラミック (長野・山梨)	0263-29-1330
	【北陸】	
	ミサワセラミックホーム北陸 (石川)	076-222-1558
	【東海】	
	ミサワホームセラミック (愛知・岐阜・静岡)	052-856-3330
	ミサワセラミックホーム静岡 (静岡)	054-257-1125
	ミサワホーム東海セラミック (岐阜・愛知・三重)	052-238-0717
	ミサワホームセラミック遊 (愛知)	052-322-4611
	ミサワセラミックホーム三重 (三重)	0598-51-5515
	【近畿】	
	ミサワホームセラミック (滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良)	072-631-3330
	ミサワセラミックホーム近畿 (滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良)	06-6341-1301
	ミサワセラミックホーム和歌山 (和歌山)	073-436-6255
	【四国】	
	ミサワホーム四国セラミック (徳島・香川・愛媛・高知)	087-868-0330
	【中国】	
	ミサワセラミックホーム中国 (鳥取・島根・岡山・広島・山口)	086-245-1213
	ミサワセラミックホーム新山口 (山口)	0833-71-6666
	【九州】	
	ミサワホーム九州セラミック (福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)	092-431-3390
	ミサワセラミックホーム佐賀 (佐賀)	0952-23-7141

ホームイングデザイナー	【北海道】	
	ミサワホームイング北海道 (北海道)	011-846-0140
	【東北】	
	ミサワホームイング東北 (青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)	022-239-7115
	【関東甲信越】	
	ミサワホームイング栃木 (栃木)	028-610-9364
	ミサワホームイング (東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・群馬)	03-5344-7510
	ミサワホームイング多摩 (東京)	042-527-3387
	ミサワホームイング湘南 (神奈川県)	0463-36-3631
	ミサワホームイング新潟 (新潟)	025-232-3340
	ミサワホームイング甲信 (長野・山梨)	0263-24-0330

本質デザイナー	【北陸】	
	ミサワホームイング北陸 (富山・石川・福井)	076-233-3323
	ミサワホームイング富山 (富山)	076-433-4412
	【東海】	
	ミサワホームイング静岡 (静岡)	054-257-1152
	ミサワホームイング東海 (岐阜・愛知・三重)	052-238-0718
	【近畿】	
	ミサワホームイング近畿 (滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良)	06-6450-3330
	ミサワホームイング和歌山 (和歌山)	073-436-6233
	【四国】	
	ミサワホームイング四国 (徳島・香川・愛媛・高知)	087-868-4881
	【中国】	
	ミサワホームイング中国 (鳥取・島根・岡山・広島・山口)	086-245-0400
	【九州】	
	ミサワホームイング九州 (福岡・長崎・熊本・大分・鹿児島)	092-441-7466
	ミサワホームイング佐賀 (佐賀)	0952-23-7141
	【セラミック】	
	ミサワホームイングセラミック (東京・静岡・愛知・滋賀・大阪)	03-3247-8300

関連会社

ミサワホーム総合研究所	03-3247-5644
ミサワエクステリア	03-5336-8270
ミサワエムアールディー	03-3345-7990
メディアエムジー	03-5339-8500
マザアス	03-3344-0311
テクノエフアンドシー	03-6302-0808
CSロジスティクス	03-6316-3509
ミサワMJホーム	03-5909-0133
ニュー・ライフ・フロンティア	03-5730-9046
【海外】	
ミサワホームオブフィンランド	
臨沂三澤木業有限公司	2012年7月現在

【本書をご覧になる際、以下の注意事項をご確認ください】 本書にはミサワホーム株式会社の知的財産、ノウハウが含まれているところがあります。本書の内容を本来の目的以外に使用することや、当社の許可なくして複製・転載することはご遠慮ください。

商品の詳しい内容や住まいづくりのご相談・お問い合わせは、お近くのミサワホームへ。

www.misawa.co.jp

ミサワホーム株式会社

〒163-0833 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号



発行部署 ミサワホーム株式会社

経営企画部 CSR・環境推進課

〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号

お問い合わせ先 TEL:03-6316-2701 FAX:03-5381-7838 E-Mail:houkokusho_eco@home.misawa.co.jp

www.misawa.co.jp/csr/

2012.6 発行

